

## オモロ反復句一覽〔巻別〕

はしがき

波照間 永吉

オモロの分かりにくさ、解釈・通釈を困難にしていることの要因の一つに、一首のオモロにおける対句部と反復部の弁別・確定の問題がある。つまり、一首のオモロを構造的に捕らえ、一首の意味を考えるには、対句部と反復部の弁別・確定という前段の作業がなされなければならないのである。

筆者はこの観点から、「〔研究ノート〕オモロ解説への階梯——対句部における記載の省略について——」（『沖繩文化』六四号 一九八五）、「オモロの対句部と反復部をめぐって——オモロの反復を中心に——」（『琉球方言論叢——琉球方言クラブ三〇周年記念誌——』 一九八七）、「『おもろさうし』の記載法——記載の省略とオモロの本文復元をめぐって——」（『文学』第五七巻第一号 一九八九）等の論考を書いてきた。これらの論考で述べたことについて、ここで再説することは割愛するが、ただ、要点をかいつまんで言えば、「『おもろさうし』の記載法は、同一詞句の記載の反復を避ける傾向がある。したがって、オモロの本文は、これら記載上省略された詞句を完全に復元することによって得られるのである。ところでこの時注意すべきことは、記載上省略された詞句の全てが、歌形論という反復句というのではなく、これには対句部の詞句がふくまれている点である。従来、記載上省略された詞句は、第二節以下で繰り返されることから、これをすべて反復句とみてきた。しかし、これは誤りであった。つまり、オモロの「反復」には、記載法上の反復と歌形論上の反復とがあり、一首のオモロが対句部と反復部の二つの異なった要素からなっていて、一首の内容は対句部の展開によってあとづけられるとみる以上、この両部の境界をどこに設定するかは一首のオモ

ロの内容把握と密接している筈である」ということになる。

ここにおいて、本稿冒頭に書いた「対句部と反復部の弁別・確定」という作業が、オモロ解読のための前提として必須なものであることが了解されよう。

このような問題意識にたつて、『おもろさうし』をめくり、一首々々のオモロの対句部と反復部とを弁別し、反復句をオモロの所出順に配列してみたのが本稿である。もっとも、筆者は先に「オモロ反復句索引へ末尾句引き」(試案)、『沖縄芸術の科学』第二号(一九九〇)を公けにした。順序からいえば、本稿が基となって右の稿はなつたのである。後先が逆になつたかっこうである。右の稿は同稿の「はしがき」にも書いたとおり、「オモロ反復句の表現類型の整理・研究」「オモロ反復句の内容論」のための材料として作成したのであつたが、なお、一首ごとに、反復句がどのようなになっているかを検討する必要のあることは言うまでもない。本稿はそのためのたたき台である。

一首ごとの反復句を示す作業については、玉城政美氏の「オモロの歌形」(『琉大法文学部紀要 国文学論集』第二五号 一九八一年)が先行研究としてある。同論文の巻末「オモロの歌形分類一覧表(1)」でそれをみる事ができるが、ただ同表は記号による表示であり、反復句の形が一目瞭然というわけにはいかない。本稿は、その部分について、オモロ研究者一般が利用し、かつ検討し易い形で提出したものである。玉城氏の分析・分類との異同の比較・検討ということではなく、一首ごとの反復句の形を手軽に探り、議論の材料となるよう試みたのが本稿である。もとより、本稿の作成に当たっては玉城氏の右論文を導きの書とし、多くの部分を氏の研究に負っている。このことを一言付け加えておきたい。

## 凡 例

一、本稿は『おもろさうし』所収のオモロ一五五四首(他に「番外オモロ」一首を含む)の反復句の一覧である。

一、項目は「オモロ番号」「反復句」「備考」の三項である。

一、配列は巻別に、所出順とし、「オモロ番号」の欄にオモロの一連番号をにかけて示した。オモロの一連番号はテキストに従った。

一、反復句」は一首のオモロのなかで対句部に添えられ、反復歌唱される詞句のことをさす。本稿では次のような手続きによってとり上げた。

① 一首のオモロにあるすべての反復句を掲げた。一首の中に複数の反復句がある場合、その反復句が何番目に出るものであるかを、備考欄にR<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>……の形で示した。

② 反復句の表記は原則として、テキストに従った。ただ、テキストにない濁点は外間守善・西郷信綱『おもしろさうし』（日本思想大系一八）（一九七二年 岩波書店刊）に従った。また、テキストのおどり字「く」「く」はそれぞれ前の文字を入れた。

例 「もくと」―「ももと」、「うらく」と「うらつらと」

③ 外間守善・西郷信綱『おもしろさうし』本文の中に見られる補い（「」で括弧である）は「」をはずして示した。

例 けわ（い）ぢよ―けわいぢよ

④ 反復句の「句切り」は原則として文節を単位としたが、意味的な連関から必ずしもそうでない部分もある。これについては外間守善・西郷信綱『おもしろさうし』を参考にした。

⑤ 同一の反復句が複数回出てくる場合は、その初出の形で示した。

⑥ テキストの反復句の形に何らかの文字や語句の誤脱が想定される場合、また、記載上省略されたと目される語句がある場合は、（ ）で括弧して想定される文字・語句を補った。また、重複オモロによって反復句の形を復元したものについては、「」で括弧してその復元部分を示した。

例 三四九 さやはしもはしり おしみちへれ ぢやうの しゆ (たますだれ ○○○○○よ すでもの)

一四二九 かほうせぢ まゑ (よせて ちよわれ)

一、「備考」の項には、特に注意を要する諸点を摘記した。

① 反復句の取り出し方に問題が残ると思われるものについて、その対案を示した。

② テキスト及び外間守善・西郷信綱『おもろさうし』と句の切り方、語の認め方の違うもので、特に注記の必要と  
思われるものについてテキストの形を示した

③ 反復句の取り出しに際して歌形論的に「又」記号をどの様に扱ったかについての注記。

④ 「――」は、整理の際に詞句の記載を省略したことを示す。

⑤ その他

一、テキストは仲原善忠・外間守善編『校本おもろさうし』(一九六五年 角川書店刊)を用い、外間守善・西郷信綱『おもろさうし』(日本思想大系一八)(一九七二年 岩波書店刊)をサブテキストとした。

#### 一、参考文献

玉城政美「オモロの歌形」(『琉大法文学部紀要 国文学論集』第二五号 一九八一年)

外間守善・安里秀正・西表宏・島村幸一・波照間永吉「久米島おもろの解釈『おもろさうし』第二一「くめの二まざりおもろ御さうし」の本文と解釈」(『沖繩 久米島』 一九八二年 弘文堂刊)

波照間永吉「オモロ反復句索引(末尾句引き)(試案)」(『沖繩芸術の科学』第三号 一九九〇年 沖繩県立芸術大学附属研究所)

〔卷 一〕

オモロ番号	反復句	備考
一	てにがした たいらげて ちよわれ	
二	かみ てだの まぶりよわる あんじおそい	
三	千万 世 そわて ちよわれ	
四	おぎやかもいに かさり うちちへ みおやせ	
五	かたなうちい ぢやくに とよみよわれ	
六	あんじおそいす とももすへ ちよわれ	
七	とたけ まさりよわちへ みれども あかぬ 首里おやぐに	
八	しま まるく みこゑしやり おそわ	
九	よう そろいて おぎやかもいに みおやせ	
一〇	いくさせぢ みおやせ	
一一	ともも さに しちへ ちよわれ	
一二	大きみぎや け やりよわ	
一三	かいなでわる たたみきよ かほう よる みやがのもり ちよわれ	「かほう よる」のみか
一四	まんまん あすらまん ちよわれ	
一五	せぢたか うちやがて ちよわれ	
一六	おぎやかもいや きみしよ まぶりよわめ	
一七	しまうちの とよみ	

オモロ番号	反復句	備考
一八	ひやくさぎやめ おぎやかもいしよ ちよわれ	
一九	きやのうちみやに こがね ふりみちへて	
二〇	ちよらのはなの うらうらと とよで みもん	
二一	かぐらの てよりとみる かに ある	
二二	うらうらと ゑんざしき ちよわれ	
二三	きみ しなて なよらに	
二四	あんじおそいに 世がほう みおやせ	
二五	あおて いきやり かたき ひぢめわちへ	
二六	あんじおそいしよ すゑ まさて ちよわれ	
二七	なさいきよもいに しまが いのち みおやせ	
二八	世がほうもりに しまゆ そろへわちへ	
二九	やちよ かけで とよまさに	
三〇	あめ もらん もりに いのりあがりしよ 世は ちよわれ	
三一	あんじおそいしよ てにぎや下 おそちへ	
三二	てによりしたの せぢがほう みおやせ	
三三	あんじおそいしよ とよめ	
三四	うらうらと 御さうぜやに ちよわれ	
三五	あんじおそいしよ 世 そゑれ	「ぢやくにや 世 そゑる あんじおそいしよ——」カ

〔卷 二〕

オモロ番号	反復句	備考
三六 四一 四〇 三九 三八 三七	<p>大きみす けい やりよわれ                  せだかこす けい やりよわれ                  しま ひろく そへて あんじおそいに 世 そへて みおやせ                  国 ひろく そへて あんじおそいに 世 そへて みおやせ                  大きみす 世 しらめ                  せだかこす 世 しらめ                  とよまちへ みおやせ                  みしま いのられ                  いつこしま とよで                  なるやせぢ みおやせ                  あんじおそい とももすへ ちよわれ</p>	R <sub>6</sub> R <sub>5</sub> R <sub>4</sub> R <sub>3</sub> R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>

オモロ番号	反復句	備考
四二 四三	<p>だくに おそう 中ぐすく                  おもろくさり おろちへ おろちへ なおしよわちへ</p>	「おろちへ なおしよわちへ」のみカ

オモロ番号	反復句	備考
四四	ゆかる まいくが のろくた つめて な あがりよわちへ	
四五	けさや つのひらせ いみやは せめて うたん なかぐすく	
四六	つきの かず なつやに あまゑて かがちよわれ	
四七	かみの ももぢやらの おもて さうせて こうば いしと かねと あわ ちへす もどせ	「いしと かねと——」のみカ
四八	たまの みつまわり まわちへ もちへ あぢおそいに みおやせ	
四九	かみしもの げすの みちへど うらやみよる	「いちみきうず いぢやちへ かみしもの——」カ
五〇	たまよ そろいわちへ もちづき あすばす きよらや	
五一	よきやのろす おもろねや とりよわれ	
五二	うちちへ なりあがらせ	
五三	とく 大みや かけて ひきよせれ	
五四	あぢかすが てもち 中ぐすく よせれ	
五五	まわちへ もちちやる	
五六	ゑけ やれ ゑけ	
五七	まへべの ひやし うたば きみも なよら	
五八	世 まさる みやがり ほごりよわちへ	
五九	かみしもの みもの する きよらや	
六〇	たるが きちへ にせる あぢおそいてだす めしよわちへ にせれ	「あぢおそいてだす——」のみカ。または反復句なしカ



オモロ番号	反復句	備考
六一	よしのうらの めづらしや けよから しばしば みに てだが ふさよわる ぐすく	「けよから——」のみカ
六二	けよ しよる つかい ももとの つかい	
六三	のちも みやも ちよわれ	
六四	よだ さちへ うら おそう わかまつ	
六五	この いくさせぢ やて もどせ	
六六	かみ下の とそば そろいわちへ	
六七	世がほう よせわる たたみ	
六八	世がけせぢ まわちへ もちちへ みおやせ	
六九	ももぢやらの うらやも さうず	
七〇	いきよいつな やちよこ ももうら そわる ひやし うちちへ みおやせ	四行目行頭の「又」とる。「くも 「ごまだまなわ——」のみカ
七一	もちなちやる いけいけしや くもごまだまなわ (のちやるごとく)	
七二	おみやつぢ みちやる	
七三	あまみきよが たくだる ぐすく	「あのちともおそいや あまみ きよが——」カ
七四	こがねげが した きみのあぢの しのぐりよわる きよらや	「あのちともおそいや——」カ
七五	あやつぢへに せせ はやせ	
七六	これど かほうてだ ごあくの あらぎやめ ちよわれ	
七七		
七八		

〔卷 三〕

オモロ番号	反復句	備考
八八	あちおそいしよ きみ そわて おぼつ世わ みおやせ	
八九	すゑにぎやめ まぢよく ちよわれ	
九〇	いみやからど おれなおちへ あすぶ	
九一	きみきみしよ よしれ	

オモロ番号	反復句	備考
七九	いみやからど ごゑくは いみきや まさる	
八〇	しらなみやが なごり おそうやに	
八一	わかつかさ てるひおのかなが つくせど よりよる	
八二	つづみの あち なりがなし ふうくに うちよせれ	
八三	ごゑくの てだ たるです きちやれ	
八四	もちろちへ こが きよる きよらや	
八五	ももしま まぢらん いしぐすく	テキスト「まぢらん」
八六	あんは かみ てづら かみや あん まぶれ	
八七	かけふさい 世の ふさい しようわれ	

オモロ番号	反復句	備考
九二	なさいきよもいあんじおそい あまこ よりかわちゑ まなしやど たちよ る	
九三	あんじおそいしよ よ しれ	
九四	めづらしや げに あよる	
九五	みしま いのられれ	
九六	いつこ なげかすな	
九七	せぢや やり やまとしま ひぢめ	
九八	てるかはす よ しれ	
九九	おれなおちへ かいなで	
一〇〇	あんじおそいしよ せぢ まさて ちよわれ	
一〇一	おぼつの よもつとで あぢおそいに みおやせ	
一〇二	あまみや世の うぶ玉 うぶだまは いのるすど よ がける	「うぶだまは いのるすど」 のみカ
一〇三	大ひらの いくさ けふ みあがやり ももそ きりふせて	「けふ みあがやり」のみカ
一〇四	そで たれて かなわせ しまのぬし よののし なりよわめ	
一〇五	とよまちへ おるしよわ	
一〇六	君 しなて なよら	
一〇七	なさいきよもいしよ くに とよで ちよわれ	
一〇八	あぢおそいしよ てるかはは いのれ	

オモロ番号	反復句	備考
一〇九	あぢおそいしよ せぢ まさて ちよわれ	
一一〇	あんじおそいしよ かけふさて ちよわれ	
一一一	天より下の せぢがふう みおやせ	
一一二	あぢおそいしよ かけふさて ちよわれ	
一一三	あぢおそいしよ とももすへ ちよわれ	
一一四	あぢおそいしよ きみぎやせぢ もちよわれ かぐら とよで	
一一五	おれなおちへ かいなで	
一一六	のちあがりしよ 世わ ちよわれ	
一一七	みやがの ひやし うちやがの ひやし	
一一八	しまが いのち おぎやかもいに みおやせ	
一一九	天が下 たいらげて ちよわれ	
一二〇	かみ てだの まぶりよわる あぢおそい	
一二一	千万 世 そわて ちよわれ	
一二二	おぎやかもいに しま そゑて みおやせ	
一二三	かたなうちす ぢやくに とよみよわれ	
一二四	あんじおそいす とももすへ ちよわれ	
一二五	とたけ まさりよわちへ みれども あかん しよりおやぐに	

R<sub>2</sub> R<sub>1</sub>

オモロ番号	反復句	備考
一二六	嶋 まるく みこへしやり おそわ	
一二七	世 そろゑて おぎやかもいに みおやせ	
一二八	いくさせぢ みおやせ	
一二九	とももと さに しちへ ちよわれ	
一三〇	大きみぎや け やりよわ	
一三一	かいなでわる あぢおそい かほう よる みやがのもり ちよわれ	
一三二	万々 あすらまん ちよわれ	
一三三	せぢ大やが うちがて ちよわれ	
一三四	おぎやかもいや きみしよ まぶりよわれ	
一三五	しま世の とよみ	
一三六	ひやくさぎやめ おぎやかもいしよ ちよわれ	
一三七	きやのうちみやに こがね ふりみちへて	
一三八	ちよらのはなの さいわたる みもん	
一三九	かぐらの てよりとみる かに ある	
一四〇	みかなしけあんじおそい 浦うらと ゑんざしき ちよわれ	
一四一	あぢおそいに 世がほう みおやせ	
一四二	あおて いきやり かたき ひぢめわちへ	
一四三	あぢおそいす すゑ まさて ちよわれ	

〔卷 四〕

オモロ番号	反 復 句	備 考
一四四	なさいきよもいに しまが のち みおやせ	
一四五	世がほうもりに しま世 そろいわちへ	
一四六	あめ もらん もりや のちあがるしよ 世は ちよわれ	
一四七	やちよ かけて とよまさに	
一四八	世がほう まがほう みおやせ	
一四九	きみきみしよ よ しれ	
一五〇	あぢおそいしよ とももすへ すゑ まさて ちよわれ	
一五一	天下した すへ まさて ちよわれ	

オモロ番号	反 復 句	備 考
一五二	かぐらせぢ あんじおそいに みおやせ	
一五三	かぐらの しけうち あやよりも ぶれまて おぎやかもいに みおやせ	
一五四	てるかはが てりよるやに きよらや	
一五五	世の まさて よの つんじ かみ てだの せぢ もちやり ちよわれ	「かみ てだの——」のみカ
一五六	まだま こがね もちみちろ ぐすく	

オモロ番号	反復句	備考
一五七	ちよらのはなの さいわたる きよらや	
一五八	かぐらの けおのうちに ある	
一五九	あがるいの こがねあな こがねはなの さきよれば あおりやゑや おれ よ みぎや おれわちへ	
一六〇	とももとす ちよわれ	
一六一	あおりやゑ つかい	
一六二	きみの つんじ つかい	
一六三	あおりやゑや しまうちゑきや おれわちへ	
一六四	あぢおそいしよ てづて ふさよわれ	
一六五	あぢおそいに くにてもち みおやせ	
一六六	なさいきよかなしけや よがほうかなふくに ちよわれ	
一六七	なさいきよが よ そいる もり	
一六八	おぎやかもしよ かけて ふさよわれ	
一六九	かぐらせぢ あぢおそいに みおやせ	
一七〇	わかきよもいに よがけすへ みおやせ	
一七一	あぢ ほこる おみやの とよみ	
一七二	けおのうち もちよる なちへ とよま	
一七三	ももと ちよわれ あぢおそい のちまさり 百あぢ なおしよわれ	

オモロ番号	反復句	備考
一七四	きみしゆよのくぎ ささまへ	
一七五	すゑ まさて よだ さちへ ちよわれ	
一七六	とよむ大きみや ももしま そろへやり みおやせ	
一七七	さすかさす なさいきよもい まぶら	
一七八	とももと さに して ちよわれ	
一七九	だに 又 だに	
一八〇	ゑけ せい やりよわ	
一八一	きみ ほこり ふう国 うちよせれ	
一八二	きき かなしけさ	
一八三	よ そわる あやご	
一八四	こへ やて おぎも やすま	
一八五	あまへわちへ あすびよわ	
一八六	とももと はやせ おれわ	
一八七	ゑ み物よせすづなり	
一八八	すゑの ひやし めづらひやし みおやせ	
一八九	だくに とよで おれわちへ	
一九〇	ももすへ これど とよむ	
一九一	つづみの あぢ なりがなし ふうくに うちよせれ	
		反復句なしカ。又は「ひやしの つち うたば きき」カ



オモロ番号	反復句	備考
一九二	あぢの つぢ なさいきよ	
一九三	よがほう あまへ	
一九四	さすかさが 嶋 なふし おれわちへ	
一九五	ももすへ おぎやかまいしゆ ちよわれ	
一九六	おこのみの たかさ あけくもの あさひ さすやに	
一九七	ひやくさのち いのて みおやせ	
一九八	反復句なし	
一九九	きみぎや こがねすへ 天つぎに みおやせ	
二〇〇	きみぎや まぶりよわる たたみ	
二〇一	こへ やて おぎも やすま	
二〇二	あぢおそいしよ せぢ とよで ちよわれ	
二〇三	くもこいろ てりやあがて ちよわれ	
二〇四	とももとの よそうせぢ あんじおそいに みおやせ	
二〇五	国 ふさて ちよわれ	
二〇六	きみぎや せぢ もちよろ なちへ みおやせ	
二〇七	すゑにぎやめ まぢよく ちよわれ	
二〇八	あぢおそいしよ せぢ まさて ちよわれ	
二〇九	あぢおそいしよ せぢ まさて ちよわれ	

〔卷五〕

オモロ番号	反復句	備考
二二〇	なさいきよもいわうにせ せぢ まさて ちよわれ すゑ ながく せぢ まさて ちよわれ あぢおそいに 嶋が のち みおやせ	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>
二二一		

オモロ番号	反復句	備考
二二二	天に てる てだと まぢゆに ちよわれ	
二二三	しまの ぬしてだよ いみやど かみしも とよむ	
二二四	よの あけて てだの てりよるやに	
二二五	あまゑ ふさよわちへ	
二二六	のちまさる 世がけひやし みおやせ	
二二七	たま こがね もちみちへる ぐすく	
二二八	かみ しまの 世 そろゑる ぐすく	
二二九	しよりもり こがね よりみちへて	
二三〇	かみしも そろゑる 世のとで うちちゑ みおやせ	
三三一	かみ てだの そろて ほこりよわちへ	

オモロ番号	反復句	備考
二二二	かぐら あつる くもごちへ みをやせ	
二二三	いりちへ みちゑ きよらやの みおどん	
二二四	世の かほう 世もつ せぢ みおやせ	
二二五	せだかあぢおそいや きみよせ きらくせ みもん	
二二六	あが なさいきゆ のちまさり てづて	
二二七	けおの めづらしや	
二二八	わかてだす きみきみ にせれ	
二二九	みいきよせ せんよせ げらへ	
二三〇	天よりしたの わうにせてだ	
三三一	てるかはす まぶて よは ちよわれ	
三三二	世まさりの おぎやかもひしよ とももと ちよわれ	
三三三	大世のぬし あんじおそい とももすゑ そろゑて ちよわれ	
三三四	とももすゑ とひやくさす ちよわれ	
三三五	かみしもの いくさせぢ みをやせ	
三三六	世そうせぢ おぎやかもいに みおやせ	
三三七	かみ すぢや そろて ほこりよわちへ	
三三八	世そうせぢ あぢおそい 天ぎやした せぢ やりやり ちよわれ	
三三九	これど こがねうちに たとわる	

オモロ番号	反復句	備考
二四〇	げらへやり おぎやかもいに みおやせ	
二四一	やちよ ゑぞにやすゑ おぎやかもいに みおやせ	
二四二	とももすへ おぎやかもいす ちよわれ	
二四三	ももつ かわりくるぎやめ これど べにひき とよむ	
二四四	ぐすく おどの げらへて かみしむの み物する きよらや	
二四五	ゑぞにやすへ てだが うち 世 ひろく 世 ながく ちよわれ	一節のみオモロ
二四六	とももすゑ これど いちゑ とよむ	
二四七	とももすゑ これど いちゑ とよむ	
二四八	すへ まさて とひやくさす ちよわれ	
二四九	ももあぢより およ まさりよわれ	
二五〇	これど あんじの きみしてだ	
二五一	しより きやんうち あまやかせ	
二五二	これ いちゑ あんじおそい はやせ	
二五三	とももと おがで かがおらに	
二五四	世 ひろく よう ながく ちよわれ	
二五五	あすもりの よもつすでみづよ みおやせ	
二五六	おもひぐわす とひやくさよ ちよわれ	
二五七	ぢ天の あらぎやめ ちよわれ	

オモロ番号	反復句	備考
二五八	てだやれば とひやくさす ちよわれ	
二五九	ももぢやら なおす せぢ もつ たたみ	
二六〇	てだが いのち かみが いのち みおやせ	
二六一	こそてはた おぎも だりじよ げすに をもわれれ	
二六二	天がした だりじよ とよみよわれ	
二六三	とももすゑ とひやくさす ちよわれ	
二六四	ゑぞにやすへ おもいぐわす ちよわれ	
二六五	いみきもりぢよ いちよなしや しゆるな	
二六六	しま ひろく くに ひろく ちよわれ	
二六七	すかての おもいちゑの てだ	
二六八	たま つむ きやんうち みちやる	
二六九	みやがの とり みやがの わし	
二七〇	きみつほに おぎやかもいに みおやせ	
二七一	さすがおそい 世 そわて ちよわれ	
二七二	てだの てらぎやめ ちよわれ	
二七三	みもんみやぶ かみしもの とよみ	
二七四	あぢ てだ おやまで へらい	
二七五	をふれ おぎも やすで	

「わが み わかく なて  
てだが—」カ

オモロ番号	反復句	備考
二七六	とももすゑ あまゑやす ならめ	
二七七	ももあぢの みあぐも てだ	
二七八	とももすゑ これど いちへ とよま	
二七九	しま世の あらぎやめ ちよわれ てるかはが てるよるやに ちよわれ しまよの あらぎやで (ちよわれ)	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>
二八〇	とももすへぎやめも おぎやかもしよ すゑ まさて ちよわれ	R <sub>3</sub> ( ) 内四文字補い、R <sub>1</sub> と 同じとみるカ
二八一	おぎやかもし ほこて すゑ まさて ゆだ さちゑ ちよわれ	
二八二	かみ てだの そろて ほこりよわちゑ	
二八三	いのりよれば てだが ほこりよわちゑ	
二八四	とももすゑ とひやくさす ちよわれ	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>
二八五	とももすゑぎやめも かみしもの みもんする きよらや すゑの おどの ちよわちゑ つほに みしやく ぬきあげは すゑ まさ て とひやくさす ちよわれ	「すゑ まさて——」のみカ
二八六	しま そわて とももすゑ ちよわれ	
二八七	ももくら ひきよせて みおやせ	
二八八	かみしもの たから つで みおやせ	
二八九	あまへやべら ほこりやべら	

〔卷 六〕

オモロ番号	反復句	備考
二九〇	とももと ももうらおそい ちよわれ	備考

オモロ番号	反復句	備考
二九一	くに ふさて ちよわれ	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>
二九二	きみぎや せぢ もちよる なちへ みおやせ	
二九三	すへにぎやめ まぢよく ちよわれ	
二九四	あんどおそいしゆ せぢ まさて ちよわれ	
二九五	あんどおそいしゆ せぢ まさて ちよわれ	
二九六	なさいきよもいわうにせ せぢ まさて ちよわれ	
二九七	すゑ ながく せぢ まさて ちよわれ	
二九八	あんどおそいに しまが いのち みおやせ	
二九九	あれあれ あまへれ やちよこ	
三〇〇	おもうやに げらへ よのつぢ ちよわれ	
三〇一	おぎもせぢ やりよは おきなわ たうりやり かない	
三〇一	せぢ はやしよわば せぢにす おわめ	

オモロ番号	反復句	備考
三〇二	てもちなわぬへわちへ はまだま ゑらで よてこう	「まだま」のみカ
三〇三	うらのかず おそう 世わ 世の てもち まへに よせわ	
三〇四	なさいきよもいに 世の せぢ みおやせ	
三〇五	げす ま人 すだしやり ちよわれ	
三〇六	かみがみ あまへる きよらや	
三〇七	しまが おゑるぎやめ ちよわれ	
三〇八	しまが おゑ ちよわれ	
三〇九	おれ みれ さうぜ やりあぐで	
三一〇	なさいきよが おせぢ ももあぢ たちあわん	
三一〇	だにす なさいきよもい たう みやこ きや かまくら かなわせ	
三一二	あんじおそいす すゑ まさて ちよわれ	
三一三	しまうちせのたかや くにうちせぢあぢおそい	
三一四	たくだる げすの うちやりさらめ	
三一五	おりぼしや ちよわちへ	
三一六	ねいし まいしの あらぎやめ ちよわれ	
三二七	とももと ちよわれ	
三二八	きみがなし け やわちへ 大ぐすく おれわちへ	
三二九	きみがなし みちやる まさり	
		「せるもりに ちよわちへ し まが——」カ 「きみぎやせぢ いのる もり に ちよわちへ しまが——」 カ



オモロ番号	反復句	備考
三二〇	おそて かけて とどやけれ	
三二一	のぼて みちやる まさり	
三二二	とひやくさす ちよわれ	
三二三	おそて そろへわちへ おぎもの せぢしやり なおせ	「おぎもの せぢ——」のみカ
三二四	けれど だにの まてだやれ	
三二五	ももしまの たから つで みおやせ	
三二六	なさいきよが あぢ おそう しまうち	
三二七	かみ下 おそて かなわしよわれ	
三二八	かみ下 おしやわちへ ちよわれ	
三二九	しま おそて ちよわれ	
三三〇	ゑのちかみ このみしよわちへ	反復句なしカ
三三一	かみ下の 大とよみ	
三三二	反復句なし	
三三三	かみがみす うらのかず いのりやゑて よせれ	
三三四	なさいきよもいに しまが いのち みおやせ	
三三五	ももぢやらの ぬしてだ なりよわちへ	
三三六	かなひやぶ てづて	「みち あけて かなひやぶ—」カ
三三七	おりぼしやよし 世がほうかなしおどん	

〔卷七〕

オモロ番号	反復句	備考
三三八	世そうもりに ともよせ げらへ	
三三九	あすぶ きよらや	
三四〇	世の つほに 世の つくせ みおやせ	
三四一	ゑためとも かなしや	
三四二	あま ならちへ さしふ たすけわちへ	
三四三	むかい ほこら	
三四四	みしま おれなおせ	

オモロ番号	反復句	備考
三四五	てるかはと あいちへ なて ちよわれ	R <sub>1</sub>
三四六	かぐら あつる くもこいし てづて おぎやかもいに みおやせ けおのうちに あつる ももくちの てもちへ (おぎやかもいに みおやせ)	R <sub>2</sub> 。玉城政美「オモロの歌形」は反復句の数を一とする。
三四七	てだ てるかはと とこへ やりかわちへ しよりもり ちよわる あが たたみがなし まぶて まぶりよわれ	「しよりもり ちよわる」のみカ

オモロ番号	反復句	備考
三四八	おぼつたけ あつる すでる てうみづよ かみぎや きも やてや いつ こしま おろちへ かいなでみづ しめまし	R <sub>1</sub>
三四九	さやはしもはしり おしあけれよ ちやうの しゆ たますだり まきあげ れよ すでもの さやはしもはしり おしみちへれ ちやうの しゆ (たますだれ ○○○ ○○よ すでもの)	R <sub>1</sub>
三五〇	しらしよみしゆ みおやせれ しよりもり ちよわる あが たたみがなししゆ まだに やびきよわちへ	R <sub>3</sub>
三五一	天が下 なわ かけて ちよわれ	
三五二	くにもり ほこて くに まさて ちよわれ	
三五三	なさいきよもい これど だにの けおのうちの こがねはなに たとわる	「これど——」のみカ
三五四	きやのうちみや てもちかね すだちへ これど だにの しよりおやぐに	
三五五	あまへ ぶれまへば ももうら よてこう かほうよせぐすく	
三五六	きや かまくら かわら なばんぎやめ たう みやこ そろへて かなわ しよわれ	
三五七	てだが おぎし ほこて あんじおそいしゆ かけて ふさよわれ	
三五八	なさいきよが みおもかげ たちちへ	
三五九	世もちわし とりよわちへ しまうちくせ あんじおそいに みおやせ	

オモロ番号	反復句	備考
三六〇	とももとの 世そう せぢ あんじおそいに みおやせ	
三六一	もちよろ なちへ あぢおそい まぶら	
三六二	てるかはが きよらや てりおそう だしま まぶりやべら	
三六三	なさいきよもい あんじおそい みきやう あわちへ おもかしやど げに ある	
三六四	あんじおそいに みおやせ 大きみぢよ あよ そろて ちよわれ	
三六五	なさいきよもい あぢおそい あまこ よりかわちへ まなしやど たちよ る	
三六六	かいなでたたみきよ うらうらと ゑんざしき ちよわれ	
三六七	あぢおそいきや おより とて おぼつより かゑら	
三六八	みかなしけあんじおそい うらうらと ゑんざしき ちよわれ	
三六九	まぶりよわば ももすゑ ちよわれ	
三七〇	すゑ まさて あすびぶれまへば かみ てだの ほこて まぶりよわちへ	
三七一	あが たたみがなししよ あんじかすの わう	
三七二	せぢたかむ ほこて	
三七三	おきなわの いよわ あぢおそいに みおやせ	
三七四	おみぎや みよ おがめば かなしや	
三七五	此 みしやこ ぬきあげわちへ 世は ちよわれ	

オモロ番号	反復句	備考
三七六	あまへど いちよなしやど しよらい	
三七七	ももうらまちらすわ やまと きやう かまくら ふくによせあぢおそい あぢおそいや おがめばど とももと ちよわる	
三七八	なさいきよかなしけや みやげぼしや	
三七九	あけもどろの はなの さいわたり あれよ みれよ きよらやよ	「あれよ——」のみカ
三八〇	ひやくさ なてからは こがねすへ つきやり 御まへ かがおらに	
三八一	あぢおそいが しま まるく みこい	
三八二	かほうは しよりおやぐに	
三八三	てだが おもいよわる まてもちたたみ	
三八四	とももとす とひやくさす いのらめ	
三八五	おみかうの おがめばの よが あけるやに	
三八六	てにの てだ あぢおそい まぶら	
三八七	あぢおそいしよ せぢ まさて ちよわれ	
三八八	あんじおそいしよ かけふさて ちよわれ	
三八九	けよも あちやも おみきやうよ おがむすが まさり	
三九〇	めづらしや あかん しよりおやぐに	
三九一	めすかわの まさうず こゑが おわち	
三九二	世うどれ くもが おゑ	一節のみのオモロ。断片カ

〔巻 八〕

オモロ番号	反 復 句	備 考
三九三	いみやど いみきや まさる	「あまへわちへからは いみやど——」カ
三九四	時 とたる まさしや おふれ よ そわて ちよわれ	
三九五	おまん たまより まさり	
三九六	みちへ いぢゑ おもかげど たちよる	
三九七	おかう おがで よむいきのかず	
三九八	おもふぎやめ ちよわれ	
三九九	世の さうず いぢやちへ かみ てだの そろて まぶりよわちへ	
四〇〇	のりがなし しまうち まさりよわちへ	
四〇一	かほうてだ	
四〇二	すへの ちな うるわし こやり うちやべら	
四〇三	ひやくさぎやめ ちよわれば しまたづな くにごしやん みおやせ	
四〇四	おもろたね こやべら	
四〇五	おしやへしちへ もちみちへる ぐすく	
四〇六	ま人の けわいど ほしみよわる てだ	
四〇七	かねもちの みこし さしやり ふさよわちへ	
四〇八	みほし みこし	
四〇九	くになかの しよりもりぐすくかち はやく 御みつかい おがで かがお	

オモロ番号	反復句	備考
四一〇	らに かまゑ はやく いぢへ おぎもに しなわに	
四一一	おもろよ みおやせ せるむよ みおやせ	
四一二	げすの うれし かなし てだ	
四一三	こくらの げす ま人 いけて ながりよわちへ	
四一四	しま中の げすの そろて おほこり しょわちへ	
四一五	けらまよ 御まぎり しょわちへ	
四一六	みやがよせなりがなし	
四一七	てによりしたの げす ゑらぶ てだ	
四一八	とひやくさす ちよわれ	
四一九	こかへ とよみよわる てだよ みちやる	
四二〇	いみやど 世は まさる てがねまる しま かねて きより	
四二一	なおちへ よく まさりよわ	
四二二	をかう なくて	
四二三	あまへぼしや ほこりぼしや	
四二四	おにぐすく けやわせ	
四二五	おりほし かなしけ きよらやの みおどん	
四二六	ゑかうに かうに ゑかうに かみ てだす しらちやらめ	

オモロ番号	反復句	備考
四二七	のぼて みちやる まさり	玉城政美「オモロの歌形」は反復句の数を二とする。
四二八	おきなわ とよむ ま物うち みちやる	
四二九	なおちへ とよま	
四三〇	ねやがりよ おもろよ めめて	
四三一	あぢかほうど げすは よかる	
四三二	おもろど そない せるむど さかな	
四三三	そほらのつるぎ みちやる	
四三四	みやがよせきまがなし	
四三五	しまうちのりがなし	
四三六	しよりしゆ ももうら ひく ぐすく	
四三七	大ぎとの おもいぢへてだ	
四三八	ももぢやらの ぶれおもいてだ	
四三九	世かはら よせ 御ぐすく げらへ	
四四〇	ひやしのつち うたば とももと ちよわれ	
四四一	世がけひやし みおやせ	
四四二	うのときの てだの あがて てりよるやに おみかうの みぼしや	
四四三	みれつなおきて かに あればど おはたは よりよる	
四四四	おりぼしや ちよわちへ	



オモロ番号	反復句	備考
四四五	ひやくさいのち わかてだに みおやせ	
四四六	人の うらに あつる かまゑ よせ かきつるぎ	
四四七	うし こわば あんに たぼれ	
四四八	しけち まみきもりや とももと わかてだ はやせ	
四四九	とももその あずび みちへど うらやみよる	
四五〇	ももうら おそう 世そうみおどん	
四五一	しまよ そろへて みおやせ	
四五二	しまよ ゆせて みおやせ	
四五三	つづみ うたば ももうら うちよせれ	
四五四	しまの よた やれば たにるから きより	
四五五	よせうちしゆ しまは うちよせれ	
四五六	いし かねのやに をのち つぎよわれ	
四五七	この ひやし あげれ	
四五八	いよやに しま おへく 世 ながく ちよわれ	
四五九	月 てだのやに てで かがちよわれ	
四六〇	かみしもの 人ひぢめてだ	
四六一	てりいちゑやり ちよわれ	
四六二	かみしも とよむ おやもいみおどの げらへ	

オモロ番号	反復句	備考
四六三	かほうてだ めづらしや やまぐすくてだ	「ふね たてば くにの ちゃ らと」カ
四六四	くにの ちゃら とこいちへ おみかう おがま	
四六五	よくむ またも うちやがて ちよわれ	
四六六	とももと ちよわれ	
四六七	かねの てだ みこし さしよわやり 世 そわる みこし	
四六八	よせもい ひぢやりも にぎりも かなしや	一節のみのオモロ
四六九	うちあがる ひやしや 世 うちちへ みやおせ	
四七〇	てだは かに あればど おはたは よりゆる	
四七一	けお しゆる つかい ももとの つかい	
四七二	ゑいとてだ	
四七三	しま世の あらぎやめ ちよわれ	
四七四	とももと とひやくさす ちよわれ	
四七五	しまよ そろへて みよわれ	

〔卷 九〕

オモロ番号	反 復 句	備 考
四七六	のちまさり ちよわよる きよらや	
四七七	きよらやの くにてもち	
四七八	いせひやし とよで うちあげれ	
四七九	げらへみやうぶ とよめば みもん	
四八〇	まぢらた めより	
四八一	ともよせや しまうち御くら	
四八二	おれが みもん	
四八三	あさいによ ひろみやに おれなおせ かみた かみ	
四八四	ひやし うちあげれば きみも なよら	
四八五	いとおどし なめしいとよ さげて おしまわせ	
四八六	なよびちへ おれて	
四八七	世がけにせさ	
四八八	こげ つな やちよく	
四八九	あ ゑけ やれ	
四九〇	あんじおそいしよ せぢ まさて ちよわれ	
四九一	みやげぼしやの わかいきよ	
四九二	反復句なし	

オモロ番号	反復句	備考
四九三	反復句なし	三・五行目行頭に「又」補う。
四九四	あやくせ めづらみやぶ	
四九五	かみしも おしあわちへ ちよわれ	
四九六	やらの くせ なよびかせ	
四九七	なさいきよもいあんじおそい あまこ よりあわちへ まなしやど たちよる	
四九八	しけちなは まさうず しま世の かほうさうず いぢへみ	
四九九	きやよせはぎあがりや なみ おそう はやみおうね	
五〇〇	世 そろう ぐしかわ げらへて	
五〇一	大きみぎや あちなし あんじおそい そろう かなしけや	
五〇二	世もちわし こよわちへ しまうちくせ あんじおそいに みおやせ	
五〇三	もちろちへ こが しよる きよらや	
五〇四	もりあい たたみきよ きもちやさ おしなせ なさいきよ	
五〇五	なみ つりよせ つりあわちへ	
五〇六	いきやる すぢや おてが 大きみ なお しやり つかい	
五〇七	反復句なし	
五〇八	かぐら とよで	
五〇九	うらうらと はりやせ	

オモロ番号	反復句	備考
五一〇	あんじおそいでだの おうねど まちよる	反復句なしカ

〔巻一〇〕

オモロ番号	反復句	備考
五一一	ゑけ せぢ まさて ちよわれ	
五二二	てだこ大ぬしや きよらや てりよわれ	
五二三	ほしの かつた もちろちへ ちよわれ	
五二四	ゑよ ゑ やれ おせ	
五二五	あまへて けわいこぎ しようちへ	
五二六	あまへて しまより まさりよわちへ	
五二七	だしま とよも おもかは あがて おわちへ わかいきよ いまやて み ちやる	
五一八	あぢおそいしよ 天下 おそい	
五二九	ぢやくに しらたる うちちへす もどれ	
五二〇	ま人の けわいぢよ みもん	
五二一	みやりぼしや しようりの めづらしや さに ある	

オモロ番号	反復句	備考
五三二	よけ よう よ なおせ 世う なおさ	
五三三	こげ つな やちよく ゑやれ おそい やちよく	
五三四	け やれ け	
五三五	だりじよ ゆそい	
五三六	しらたる げに またたるよ	「げに またたるよ」のみカ
五三七	反復句なし	
五三八	ゑけ やれ かいとり	
五二九	あぢおそいしよ とよめ	「ぢやくに よせたる あぢおそいしよ」カ
五三〇	あおる こがせや もどる くもは きやり こがねしま はちへおわちへ	
五三一	ゑけ	
	ゑけ さいわたるの さくら しけしけと おりさちへ けおより あいい	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>
	てるむ	
五三二	ゑけ よう	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>
	ゑけ よう しまよ うちとりよわちへ	
五三三	しよりの めづらしや	
五三四	ゑけ	
五三五	反復句なし	
五三六	かほうももゑらび	

オモロ番号	反復句	備考
五三七	みとろかね みおやせ	
五三八	かほう よせつける とまり	
五三九	あまへ ほこよる きよらや	
五四〇	おれなおせ かみがみ	
五四一	おゑちへ こうて はりやせ	
五四二	かいとり	
五四三	ゑ やれ しく しけ かけて こがせ	
五四四	うらうらと おせ	
五四五	こぢへきよる きよらや	
五四六	ゑ おきにやあんじおそいす ちよわれ	
五四七	ふなやれひやし	
五四八	ぢみち あよむやに こがせ	
五四九	くにぢやかよ わかきよが たま世せおうね	
五五〇	とりぎや とう とり	
五五一	ややと おせ やちよこた	
五五二	やれ け ややの やほう あふらちへ	
五五三	ゑけ やれ け	
五五四	やうら おちへ つかい	

オモロ番号	五五五	反復句	備考
	やふら おせ やちよくた		

〔巻 一〕

オモロ番号	五五六 五五七 五五八 五五九 五六〇 五六一 五六二 五六三 五六四 五六五 五六六	反復句	備考
	大ぬしが おもいぐわ てだの かた もちろんへど おわる 反復句なし 世 なおしが おわちへ とももすへ あんじおそいす ちよわれ あやみやの めづらしや あが なさす ふため まさりよわれ あぢおそいしゆ よ そゑれ 反復句なし あやぎやね おしあい しゆわれ ももと てづられれ たりるこの みるやに つかい ももあんじやらばやちよむ ゑ やれ とよむ あぢおそい		R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>



オモロ番号	反復句	備考
五六七	おもいきみ げらへきみ きよらや てだ げらへて ちよわれ	
五六八	おもい こて げらへ	
五六九	てだよ みちやる まさり	
五七〇	おやより こので	
五七一	うらきらしや みぼしや	
五七二	いきやる さうず あてが	
五七三	きみよ ほこりよわちへ あんじおそいや ももと世す ちよわれ	四行目行頭に「又」補う。
五七四	ましけす まげらへ しよわちへ	
五七五	で わん おぎも はやさ	
五七六	げらへ みもん	
五七七	ももすへ とよむ きこへる もり	
五七八	ゑけ みのかは うちちへ とよみ	
五七九	世よせあかずおどん	
五八〇	せだかさ とよみよわる たたみ	
五八一	こいしのす もちよろゑて みおやせ	
五八二	よく げらへて まさりゆわる せだかこ	
五八三	こがねうちの 世そうせぢ みおやせ	
五八四	やちよこ いややに おそて ちよわれ	「だに ま御み事る こいしのす」カ

オモロ番号	反復句	備考
五八五	なさいきよに しなて とよま	
五八六	ももうらの とよみ	
五八七	いなよね ゆりみちへれ	
五八八	つくせ よせれ	
五八九	ももうらまちらす たちよわちへ ふさよわれ	
五九〇	反復句なし	
五九一	せこい ききぼしや くにとよみ	
五九二	きこゑあんじおそいや ももと世す ちよわれ	
五九三	いけいけしく はやせ	
五九四	わかきみ げらへて つかい	
五九五	まぢらた めより	
五九六	しらたる いちよかか ころた あやの みやし うちよわちへ かみは	
五九七	またたな	
五九八	人の うらの かない かきよせて あぢおそいに みおやせ	
五九九	おとときみやれども おれるかず きみ はやす みこい	「おれるかず」のみカ
六〇〇	うちあがる ひやし	
六〇一	おもしろする 大や 世そうひやし うちちへ みおやせ	
六〇一	世 まさる しまうちひやし みおやせ	

オモロ番号	反復句	備考
六〇二	まへさうず ありてば ゑけ まさり きく うらやみ	
六〇三	とよみよる つかい まころくが げらへ	
六〇四	ゑ わすれたな なさいきよが 御みかうの みぼしや	
六〇五	世 そろう ぐしかわ げらへ	
六〇六	みれば みづ まわて	
六〇七	で わん おぎもに しなは	
六〇八	御みしやく ぬきあげ	
六〇九	かほうせぢ まへ よせて ちやうわれ	
六一〇	せだかこが つかい	
六一一	おぎもたかもりや くにまさり しよわちへ	
六一二	世の いきつぎの 世の てもち みおやせ	
六一三	まいとおどし けさつり とよで	
六一四	おにより まさり せぢ そわて ももぢやら まかせ	
六一五	いみやど 世わ まさる 世たまの とどまる ぐすく	
六一六	ももあぢより まさり世わ すゑ ながく たまよ そろいわちへ	
六一七	まぶりよわば ももすゑ ちよわれ	
六一八	にしの かねまるは のちが すゑ おせわ おぎやかもいす ちよわれ	
六一九	すづとみす あぢ はやせ	

オモロ番号	反復句	備考
六二〇	さいのはなの まやいど みもん	
六一一	あやつちへ とよま	
六二二	いけいけと そろわば おれら	
六二三	せのきみ てづて あまやかせ	
六二四	すへ ながく 世 そろゑて ちよわれ	
六二五	世 なおしが おれわちへ	
六二六	うちあがる たたみ	
六二七	けわいつ	
六二八	あんじおそいよ まぶらてて おれわちへ	
六二九	かみがいのち あんじおそいに みおやせ	
六三〇	なさいきよに みやがのもり みおやせ	
六三一	たけ みつき しまの つち ちよわれ	
六三二	ももとひやし うちあがる なさいきよ	
六三三	世がほうなさいきよ	
六三四	たまよ そろゑて みおやせ	
六三五	みかなしわかいきよ ももすゑ ちよわれ	
六三六	しまでん くにでん みおやせ	
六三六	こがねすゑ あんじおそいに みおやせ	
R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>		備考

オモロ番号	反復句	備考
六三七	やれ このゑ	
六三八	おこのみの たかさ ぐしかわ わくさうず げらへて	
六三九	あんじおそいでだの このみよわる かまへ つむ せんよせ げらへ	
六四〇	あんじおそいでだど わが てだ	テキスト「てだど わかてだ」
六四一	やほう ひちへ まちよら	
六四二	で わん おぎも はやせ	
六四三	月のかず なつのやに あまへる きよらや	
六四四	ぐしかわの まだま あんじからど とよむ	
六四五	御さげや ゑよてど たちよる	
六四六	みやがの ひやし なさいきよもいに みおやせ	
六四七	きみ つかい	
六四八	しまつれ くにつれ み物	
六四九	もりぐすく おれぼしや	
六五〇	おれ みもん	
六五一	やれ け	

〔卷 一一〕

オモロ番号	反復句	備考
六五二	のちあがりしよ 世わ ちよわれ	
六五三	みやがの ひやし うちあがる ひやし	
六五四	嶋が 命 おぎやかもいに みおやせ	
六五五	世がほう まがほう みおやせ	
六五六	いぐまちへ はやせ やちよこ	
六五七	けれど だに 嶋うちみあおり	
六五八	おぎやかもしよ てるかはが teriよわるやに ちよわれ	
六五九	とももの あすび とよまちへ きみぎみ つかい	
六六〇	世がほうせぢ おぎやかもいに みやおせ	
六六一	くにぐに おそう 大そいたたみ	
六六二	なさきよもいに 世がけせるむ みやおせ	
六六三	おもいぐわの あすび み物あすび なよればの みもん	
六六四	きみぎや いのち おぎやかもいに みやおせ	
六六五	おぎやかもいに 金すへ みおやせ	
六六六	玉 つむ きやの内 みちやる	
六六七	きみつほに おぎやかもいに みやおせ	
六六八	かけて かけふさい しょわれ	

オモロ番号	反復句	備考
六六九	げらへあやつづみ うちちへ なりあがらせ	
六七〇	こねり なよる かなしけさ	
六七一	月のかず あずびたち とももと わかてだ はやせ	「とももと」のみカ
六七二	世がほう まがほう みやおせ	
六七三	いぐまちへ もちるちへ あずびよわ	
六七四	あぢの つぢ あんじおそい つくしちやら 玉の きみ つかい	
六七五	せだかあんじおそいや きみよせ きらくせ みもん	
六七六	あが なさいきよ のちまさり てづら	
六七七	うちちへ みものきみ	
六七八	あすぶ きよらや	
六七九	十すへ 八すへぎやめも おぎやかもいよ みまぶてす おれわめ	反復句なしカ
六八〇	ももすへ とよむ あんじおそい	
六八一	しま そわて とよみよわる あんじおそい	
六八二	ほしの かた もちろちへ けおのうちの よりなおり みもん	
六八三	かぐらの けおのうちの かに ある	
六八四	あけの みあおり あおりやいと しなて	
六八五	嶋内あおりやい やちよ	
六八六	ひやし うちちへ きみよ ぶれよわせ	

オモロ番号	反復句	備考
六八七	なかべやほう あうらちへ しらなみやが なぐり おそやに	
六八八	玉のとり こがねとり あすばちへ くもこみしやの はしらへしゆ みも ん	
六八九	おぎやかもいに みおやせ	
六九〇	なさへきよが いきよいぢよ まちよる	
六九一	かぐらの けおの内る かに ある	
六九二	こくらの てもち もちちへ みおやせ	
六九三	けさよりや まさり 世たまの とどまりぐすく	「世たまの」のみカ
六九四	あんじおそいしゆ きみぎや せぢ もちよわれ	
六九五	さしふ おれなおちへ	
六九六	ゑけ しまよせ せるむ	
六九七	ややと おせや かみた	
六九八	たりきよらす ききとれ	
六九九	つかいど まちよる	
七〇〇	まみや あすばす きよらや	
七〇一	きよらや みもんあすび	
七〇二	うちあがて はやせ やちよ	



オモロ番号	反復句	備考
七〇三	ゑ けわいど みもん	二・四・六行目行頭の「又」を取る。 二カ所に入る反復句
七〇四	ゑ	
七〇五	お つぢへ ゑけ とよま	
七〇六	しま おそて ちよわれ	
七〇七	きみぎや せぢ おぎやかもいに みおやせ	
七〇八	あやつぢへ わかいきよに みおやせ	
七〇九	きみ てづり まはない ふう よせる よりきよらおうね	
七一〇	もとひやし うちあがる なさいきよ	
七一一	がほうなさいきよ	
七一二	らのかず あぢおそいす てづれ	
七一三	へ ながく 世 そろへて ちやうわれ	
七一四	もと世す ちやうわれ	
七一五	みやど おれて なよる	
七一六	もとひやし うちあがる なさいきよ	
七一七	らいきよ さしふ おしかかて	
七一八	しかさが まぶりよわる たたみ	
七一九	もとあがり ふみあがて ちやうわれ	
七二〇	もこいろよ てりあがて ちやうわれ	

オモロ番号	反 復 句	備 考
七二一	もうら おそう せぢたかもる	
七二二	よ そろて かぐらひやし みおやせ	
七二三	しま いのて あんじおそいに みおやせ	
七二四	るてもち あぢおそいに みおやせ	
七二五	けろ とし たたかず きみぎみ てづて ふさよわれ	
七二六	もこすへ あぢおそいに みおやせ	
七二七	ぢおそいしゆ かが世 ちよわれ	
七二八	ゑおい ちよろめへ ゑい やうら やうらへ ゑおい やうら やうら やうらあ ゑおい やうら やうら やうら ゑおい やうら やうら やうら あゑい ゑおい	
七二九	はひやよ はひやよ	
七三〇	ゑけ はひ	
七三一	ゑけ こいの	
七三二	あぢおそいよ みまぶて きみぎみや おぼつより かゑら	
七三三	なさいきよもいしよ きみ ふさて ちよわれ	
七三四	なさいきよもいに しまが いのち みおやせ	
七三五	あんじおそいしゆ きみ ほこて ちよわれ	
七三六	世もつせぢ あぢおそいに みおやせ	

〔卷 一三〕

オモロ番号	反復句	備考
七三七	きらのかず あぢおそい まぶら	
七三八	嶋が 命 あぢおそいに みおやせ	
七三九	なさいきよもいわうにせ せぢ まさて ちよわれ すへながく せぢ まさて ちよわれ	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>
七四〇	あぢおそいしよ とももすゑ すへ まさて ちよわれ	
七四一	天ぎや下 すへ まさて ちよわれ	
七四二	あぢおそいに おぼつ とよむ きみぎや せぢ みおやせ	
七四三	とももとの 世そうせぢ あぢおそいに みおやせ	
七四四	あんじおそいしよ せぢ まさて ちよわれ	
七四五	あんじおそいに しまが いのち みおやせ	

オモロ番号	反復句	備考
七四六	いちへらかず おみまぶてす はりやせ	
七四七	ゑつかさくど ゑ あは いのて はりよる ゑ	
七四八	げらいまさりとみ おしうけらば しまよ ふさよわれ	

オモロ番号	反復句	備考
七四九	<p>おやおうねや はちへ きより みちや はりやちへ きまやしよわ 世の                  つほに 世の つくせ みおやせ</p>	<p>「世の つほに——」のみカ</p>
七五〇	<p>大きみに まはへ こうて はりやに</p>	
七五一	<p>ももうら おそう たまのきみ つかい</p>	
七五二	<p>すづとみの おやおうね あぢおそいが なおさ とり はりやせ</p>	
七五三	<p>たう なばん よりやう なはどまり</p>	
七五四	<p>ぶれたかの まやうやに きよらや</p>	
七五五	<p>たまはしり たまやりと みもん</p>	
七五六	<p>だりじよ また かみ下 とよめ</p>	
七五七	<p>のちが すゑ せくさ よせるまじ</p>	
七五八	<p>たまめづらせ この とくまさり</p>	
七五九	<p>たまみねぶ わたしよわ おぎやかもいが つほに 玉みしやこ</p>	
七六〇	<p>はねうちする こはいぶさ すだちへ</p>	
七六一	<p>わうともいが なんだいむ かに ある</p>	
七六二	<p>大きみに おゑちへ こうて はりやせ</p>	
七六三	<p>とももすへ せいいくさ よせるまじ</p>	
七六四	<p>大きみに まはい こうて はりやに</p>	
七六五	<p>うけたから とよで うけるかず ぢやくにとみ おうね</p>	

「くも かぜす よりそへ のち  
 がすゑ——」カ

オモロ番号	反復句	備考
七六六	てるかはに ぢやくに ゑらで つかひ	「さしふ いせゑけり てるか はに——」カ
七六七	かなかぶと げらへて かなふくに もちりよかす きよらや	
七六八	げらへまさりとみ ふなやれ げらへて みおやせ	
七六九	で わん これ いちへ はりやに	
七七〇	はやく はりそいよ	
七七一	けお みちへ ももと みぶさよわれ	
七七二	かけて まさりよわれ	
七七三	この世 おそて なおしよわちへ	
七七四	げらへ ふさよわる もり	
七七五	やかやちや ゑ なよら	
七七六	むかい ほこら	
七七七	あまへとみ かまへ つで みおやせ	
七七八	きよらや もりぐすく	
七七九	うけみつ なりおそい つけれ	
七八〇	たう なばん かまへ つで みおやせ	
七八一	みや あがりよわれ せだかこ	
七八二	うけみつ なりおそい つ(づ)み	
七八三	これど だにの きやの まかね	テキスト「つみ」。

オモロ番号	反復句	備考
七八四	おいちへ こうて てるきしやき つかい	「なおう こので おわちへか おいちへ——」カ
七八五	みしま ようしまからど かなしやある	
七八六	うらはりぎや みもん	反復句なしカ
七八七	反復句なし	
七八八	あやけわい みもん	
七八九	やうら おちへ わかきよ つかい	
七九〇	あゆまちへが みもん きよらや	
七九一	きこへくろかりやよ とりよわやり ふさよわ	
七九二	うききよら はりやせ	
七九三	うききよら はりやせ ゑ おこれや やちよこ	
七九四	反復句なし	
七九五	そよらそよら はりやせ	
七九六	あまへて ぶれまて はりやしよわ	
七九七	うきはたの なおれよる きよらや	
七九八	あくかべよ よ はり あまやかせ	
七九九	くもかぜの たちなおる きよらや	
八〇〇	よそおせぢ せぢ まさる わかゑきよう	
八〇一	ゑけ やれ ゑけ	

オモロ番号	反復句	備考
八〇二	あぢおそいが 御つかいど はりよる	「てりやあがりは たかべて あぢおそいが——」カ
八〇三	あける 日や おみかうど おがむ	
八〇四	あぢあぢ ゑらぶ おうね かみ てだの まぶりよわる おうね	
八〇五	ふなさき つよ つけた はりやせ	
八〇六	ゑ あおりやへや はりつな やちよこ	テキスト「はりつなや ちよこ」。
八〇七	かみがみ あまへて ほこてす はりやしよわ	
八〇八	おうね くらなみ ようつゆ かけらたな はりやせ	四行目行頭に「又」を補う。
八〇九	おもうやに うちや あがりやり みおやせ	「おもうやに——」のみカ
八一〇	くにたかわかきうが たまよせおうね	
八一一	なよくら てづてす はりよれ	
八一二	なよくら てづてす はりよれ	
八一三	おしやげ みあぐで だりす はりす ちやれ	
八一四	せなはおきて なつみづる かに ある	テキスト「なつ みづる——」。
八一五	あん まぶて 此 と わたしよわれ	
八一六	まはねぢは あんじおそいに みおやせ	
八一七	まはねじ まはねじや きもからも さらん	
八一八	あまへきよら ておりとみ	
八一九	うみ とらちへ かせ なおちへ つかい	

オモロ番号	反復句	備考
八二〇	ふゑのとりの かこへの うらうらと きき きよらや	テキスト「やてよこ」ころー
八二一	きき みやぐむ せぢ やてよ こころ そろいわる あぢおそい	「あけの つよに」のみカ
八二二	大ぬしが まへに あかぎ ゆすぎのはなの ましろ まから さきよれば おれよ とて おりさちへ あけの つよに おされて なみぎや	
八二三	よりぎや はるよれば おれ みにる ころたべ	
八二四	あよ そろて やぐめてて しられれ 天が下の あんじ げす ちかわすは おぎもしやり なおしよわ	
八二五	あけまもどろ みれば へのとりの まゆへ みもん	
八二六	ゑのち大ぬしぎや みもん	
八二七	こへがなし なりきよら うちちへ しま そいれ	
八二八	きこへくにせりきうと ややの やくせ ほてらちへ てりおそいが みもん	
八二九	みやきぜん かなひやぶ あぢおそいす かけて ふさよわれ	「みもん きよらや」のみカ
八三〇	とはしり やはしり おしあけわちへ みもん きよらや	
八三一	大ぬしが このみす ゑそこみおうね このたれ おぎもの しなおやに	
八三二	はりやせ ややの まほう おしあげて はりやせ	
八三三	しつらかね まくもに なか人に やた物 やこへ せば とこへ せば	



オモロ番号	反復句	備考
八三四	とくつかい ちうらのはなの さいわたる みもん 天が下 せぢ まさる あぢおそい	
八三五	たま金みうちに たより なちへ みおやせ	
八三六	もちろやほう うらまきちへ はりやしよわ	
八三七	やれかゑ ややの やほう あおらちへ	
八三八	なむぢや こがね よらちへ はりよる きよらや	
八三九	おみしやく さしやげば はりやせ	
八四〇	ぢやくに かなしけや かみ下の かまへ つで みおやせ	
八四一	かみ下 とよむ みおどん げらへ	
八四二	ゑがきみはね こよわちへ くもかせ しなへて はりやせ	
八四三	こばもり かなもり みあぐむ かみぐすく	
八四四	あがるいの こばもり こばの はなの さきよれば うらうらと わかき	「うらうらと」のみカ
八四五	み つかい	
八四六	あよ そろお たたみきう まへかち 天が下 たより なちへ みおやせ	
八四七	あけずみそ めしよわちへ かざなおり さしよわちへ なみとどろ うみ	「なみとどろ うみ」のみカ。または「ひやくなの」のみカ
八四八	とどろ おしうけて ひやくなの うらはりが みもん	
八四八	なみが はな おそよわ	

オモロ番号	反復句	備考
八四九	せど しやり おわもりが まへかち	反復句なしカ
八五〇	きくやなきたけから やまは ひぢめかちへ あがて てる つきしよ あ が なさが せひき やひき 魚 あがるやに	「あれよ——」のみカ
八五一	あけもどろの はなの さいわたり あれよ みれよ きよらやよ	
八五二	なみかぜ なごやけて さやはたけ きみきみしよ むかい なみかぜ なごやけて さやはたけ きみきみしよ まぶれ	
八五三	なみかぜ なごやけて あすもりの きみきみしよ まぶれ なみかぜ なごやけて せらちよんの きみきみしよ まぶれ なみかぜ なごやけて うらのかず きみきみしよ まぶれ	
八五四	なみかぜ なごやけて しよもり きみきみしよ まぶらめ なみかぜ なごやけて まだまもり きみきみしよ まぶらめ	
八五五	ひやくさせち あんじに みおやせ	
八五六	ぶれまて まちよ ふさ ゆらせ	
八五七	うらこして そで たれて はりやに	
八五八	おゑちへ こうて くもに おこられれ	
八五九	いみやこより めづらこゑ やらに げらへやり おもひぐわの 御ため	

オモロ番号	反復句	備考
八六〇	ひといちよは すかまうちにはりやせ	
八六一	むむよみの まきん とて みおやせ	
八六二	しのびあぐみちよに まぶる かみ そわて まぶられて かよい ふさよ わちへ	
八六三	かぐらの ておりとみる かに ある	
八六四	あまへて しま内 まさりよわれ	
八六五	あまへて けわいこぎ みもん	
八六六	おきなわあんじおそいしよ ちよわれ	
八六七	とく 大みや ひちやぢ なちへ みおやせ	
八六八	やうら おちへ つかい	
八六九	とも まきやげ なはどまり はりやせ	
八七〇	ももまがり つみあげて かはらよせ御ぐすく げらへ	
八七一	あんじがなし しよりかち つかい	
八七二	あよはりゑや やちよこ	
八七三	うみ とらちへ わが うら よせれ	
八七四	なたまいろの なつるぎ つみつけな しよりもり みおやせ	
八七五	なたまいろの なつるぎ つみつけな まだまもり みおやせ ともすゑ のりふさい しよわちへ	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>

オモロ番号	反復句	備考
八七六	あぢおそいす とよめ	「ぢやくにや 世そい あぢおそいす——」カ
八七七	あぢおそいす 天ぎや下 おそい	R <sub>1</sub>
八七八	あんじおそいに 世がほうせぢ みおやせ	R <sub>2</sub> 。九行目行頭に「又」を補うと、この句は対句部となる。
八七九	いでらかず そで たれて はりやせ	
八八〇	しないとみ まちらたな めより	
八八一	めつけ しようちへ はりやせ	
八八二	うらうらと はりやせ	
八八三	ふたまたの 中べ あやのてに	
八八四	めづらこゑ なさいきよまへ しられれ	
八八五	こがねくち はりやさ	反復句なしカ
八八六	とぶ とりと いそいして はりやせ	
八八七	おやみふさ きよりてて しられれ	
八八八	まぶりよわる おうね	「かみてだの——」のみカ
八八九	大きみが きみし うらきれて	
八九〇	かほうとみ のりふさい しようちへ	
八九一	かみしむの かまへ つで みおやせ	
	あと なおちへ さき よかる みおうね	

オモロ番号	反復句	備考
八九二	あんじおそいでだの おうねど まちよる	反復句なしカ
八九三	まぢよく あれ みまぶら	
八九四	あん まぶて くれわれ あんじおそいぎや ぢやくに はやつかい	
八九五	おゑたてて はりやせ ゑ やれ	「ゑ やれ」のみカ
八九六	まぢよく あれ ころころ	
八九七	あれ みるろ のろのろ あよ ちよく もちよわれ	
八九八	おや やらばてて わん はりやせ	
八九九	うらこしちへ せのきみ つかい	
九〇〇	しま みらば くめあら あちやわ なはどまり おやおうねや せのきみ しよ しりゆわめ	
九〇一	なでまつは げらへて はねうちがま すだちへ とぶ とりと いそいし て はりやせ	「とぶ とりと」のみカ
九〇二	あは おしられ おやまてす はりよれ	
九〇三	せぢ まさて しまうち まさりよわれ	
九〇四	あん まぶて この と わたしよわれ	
九〇五	いぢやさかず せぢ そわて はりやせ	
九〇六	うけるかず せぢ そわて はりやせ	
九〇七	まやゑて うらこしちへ はりやせ	

オモロ番号	反復句	備考
九〇八	うら とよむ はねうちとみ すだちへ	
九〇九	あん まぶて この と わたしよわれ	
九一〇	しないとみ はぎうけたる きよらや	
九一一	あん まぶて この と わたしよわれ	
九一二	大きみに おゑちへ こうて はりやせ	
九一三	あぢおそいに かまへ つで みおやせ	
九一四	あん まぶて この と わたしよわれ	
九一五	うききよらは げらへて こがね つで しよりかち はりやせ	
九一六	みやきせん ね しやり かゑなで かいなで おこらに	
九一七	あが なさが ゆ はり あまやかせ	
九一八	あん まぶて 此 と わたしよわれ	
九一九	わかきよかなしけが おうね とぶ とりる はやぶさる かに ある	
九二〇	おゑちへ こうて おもやに はりやせ	
九二一	あん まぶて この と わたしよわれ	
九二二	あん まぶて 此 と わたしよわれ	
九二三	かに はねて あぢおそいに みおやせ	
九二四	はねうちしちへ はりよる きよらや	
九二五	大きみに まはゑ こうて はりやせ	

オモロ番号	反復句	備考
九二六	このと うちへの うらこや	
九二七	しまうちしちへ あぢおそいに みおやせ	
九二八	うらこしちへ そで たれて はりやせ	
九二九	おやおうねよ まぶりよわ まやゑて みまぶてす はりやせ	「まやゑて——」のみカ
九三〇	あぢおそいに 金 つで みおやせ	
九三一	しま かねて あぢおそいに みおやせ	
九三二	玉 金 あぢおそいに みおやせ	
九三三	あん まぶて 此 と わたしよわれ	
九三四	なごなごと なごやけて はりやせ	
九三五	ゑらぶ しま なちやる	
九三六	みちやぶれや 世のぬしぢよ まちよる	
九三七	あまへこが まぶりよわる ゑそこ	「はこぎ はりそゑて あまへこが——」カ
九三八	とく ゑらぶ たより なちへ みおやせ	
九三九	ききや 大みや ひちやぢ なちへ みおやせ	
九四〇	あまへこが まぶりよわる ゑそこ	「いちのたし まぢよく あまへこが——」カ
九四一	あん まぶて 此 と わたしよわれ	
九四二	あん まぶて 此 と わたしよわれ	
九四三	とぶ とりと いそいして はりやせ	「おやおうねは すだちへ とぶ とりと——」カ

オモロ番号	反復句	備考
九四四	あん まぶて 此と わたしよわれ	
九四五	あん まぶて 此と わたしよわれ	
九四六	あん まぶて 此と わたしよわれ	
九四七	おやせどべ 御まへ うらきれて	
九四八	みぢへりきよす あおりやゑて はりやせ	
九四九	せなはおきて おゑちへ こうて はりやせ	
九五〇	で わん しくたんか	
九五一	くれて はりよれば せんきみしよ ほがさ おそて まぶれ	「せんきみしよ——」のみカ テキスト「うらよみちへ」
九五二	うらよ みちへ きもちや うらこやい	
九五三	おゑちへ こうて はりやさに	
九五四	よしま よせれ	
九五五	くめの めづらしやよ	
九五六	あが ころが とも はいの つるぎ	
九五七	しよりの めづらしや	
九五八	おゑちへ こうて はりやせ	
九五九	いみやこより めづらごゑ やらに	
九六〇	くにまさりおやのろ ゑけ よしまからど めづらしや ある やちよくだ まちよ ふさの よりあふ しま はちへ おわちへ	R <sub>1</sub> 。玉城政美「オモロの歌形」 は反復句の数を一とする。 R <sub>2</sub>



オモロ番号	反復句	備考
九六一	あくかべよ よ はり あまやかせ	
九六二	しまよせが ぶれまへど みもん	
九六三	くめ みぎや おわちへ	
九六四	なお みちへが なよる きみ みちへす なよれ	
九六五	やれ 𪗇け	
九六六	さすかさは わきかぢ とて はりやせ	
九六七	あん まぶて この と わたしよわれ	
九六八	なさいきよもい みおもかけ たちちへ	
九六九	こしよりもり のぼせて あぢおそいに みおやせ	
九七〇	うらの なりとよみ よりかさが ほこて	
九七一	とおく はりやせ	
九七二	𪗇がきとり まやう しま はちへ おわちへ	
九七三	はまちどり お𪗇たて おへおへと お𪗇たて わが うらの うらはりぎ	「いぢへてげに はりよる わが うらの めづらしやと おく——」カ 「わが うらの——」のみカ
九七四	や みもん	
九七五	かみしも とよむ みや あしやげ げらへて	
九七六	あけもどろ やもどろ とも わきやげ おきなわに つかい	
九七六	だしま とよむ おもかは あがて おわちへ なさいきよ いきやて み	
九七六	よわちへ	

〔卷一四〕

オモロ番号	反復句	備考
九七七	ちうらのはなの さきよれば あれ みれよ きよらきみ	「こがねすへ おろちへ しま そろて——」カ
九七八	しま そろて あぢおそいに みおやせ	
九七九	きこへくにせりきよ いろ まさり まてもちたたみ	
九八〇	あやの天 とらちへ ややの やくせ ほてらちへ あんじおそいが 御ま へかち	「ややの やくせ——」のみカ
九八一	大ぬしが 御まへに くねぶげは おへておちへ おれづむ またな いな ちやはな さちやる	一節のみのオモロ。厳密には反 復句不明。「おれづむ またな ——」のみカ

オモロ番号	反復句	備考
九八二	反復句なし	
九八三	反復句なし	
九八四	おもひにせがなし	
九八五	よへのしたたりや よせれ	
九八六	反復句なし	
九八七	おもひばの きもちやさ	

オモロ番号	反復句	備考
九八八	反復句なし	
九八九	きみし しなて なよら	
九九〇	反復句なし	
九九一	くわけもと ふく とり あが おもひが こゑ なりいぢゑて きけきけ きも人 きも人す ききとれ	「きけきけ きも人——」のみカ
九九二	あんじおそいぎや おみこゑの きこやに	
九九三	かなしやの ゑけり	
九九四	うらこやはひ	
九九五	うらきらしや おがで かがおらに	
九九六	反復句なし	
九九七	ただ ひとり やたもの おもいはの きもちやさ	「おもいはの——」のみカ
九九八	反復句なし	
九九九	反復句なし	
一〇〇〇	ゑけり やうらぎや ことど あんす いちやけおもい	玉城政美「オモロの歌形」は反復句を一つとする。 反復句なしカ
一〇〇一	なさいきよ 世 そろいわちへ	
一〇〇二	かみしもの みもん する 御くら	
一〇〇三	いみやからだ 御さけや まさる	
一〇〇四	あらへか あらへ	

オモロ番号	反復句	備考
一〇〇五	で わん あすば かみがみ	
一〇〇六	反復句なし	
一〇〇七	げらへあまくもい おぼつ よどしよわちへ	
一〇〇八	世そうせぢ せぢ まさて あすば	
一〇〇九	いみやからど いみきや まさる	
一〇一〇	あたらの いとおうのよるい	
一〇一一	反復句なし	
一〇一二	いみやからど おぎもせぢ まさる	
一〇一三	あはれ まへゑくが ももしま うちちへ かけて ふさよわれ	
一〇一四	さしきよ ふみあがて ちよわれ	
一〇一五	まゝ ゑらで よせて かぐらの くひよもい はけわちへ	
一〇一六	こがねちやちよく せゑなめて おまち	
一〇一七	こがねの もちろんきよる きよらや	
一〇一八	てどこんす にほんうちに とよめ	
一〇一九	反復句なし	
一〇二〇	あんじおそいぎや おもひあげの 城	
一〇二一	あんじおそいぎや さしなしの みこし	
一〇二二	あんじおそいぎや おもひあげの ぐすく	

オモロ番号	反復句	備考
一〇二三	げらへやり あんじおそい みおやせ	
一〇二四	ておらとし ておら	
一〇二五	くになつぢ みちへ うらやめ	
一〇二六	みぼしやしよわちへ	反復句なしカ
一〇二七	あまくれ おろちへ よるい ぬらちへ	
一〇二八	かみがみ つかい	
一〇二九	あまみきよが はぢめど もちよる	
一〇三〇	げらへわちへ とももすへ ちよわれ	
一〇三一	あだにやの あやより くせより みらな	
一〇三二	ちやらつづ	
一〇三三	反復句なしカ	一節のみのオモロ
一〇三四	あすべあすべ やちよく	
一〇三五	反復句なし	
一〇三六	ゑけ はひよう こはひ	
一〇三七	おがちやる まさり みたれば かなしや	
一〇三八	おもひぐわす かけて ふさよわれ	
一〇三九	あかがねの よなおし 中 もらちへ あんじおそいに みおやせ	
一〇四〇	てるまもん てりよら	

〔卷一五〕

オモロ番号	反復句	備考
一〇四一	世の つほに おぎやかもいに みおやせ	
一〇四二	うらおしやの とよみ のちまさりあんじに おもわれれ	
一〇四三	いりて みづ こゑば みづ なきやん まみき いぢやす まくに	
一〇四四	ゑのちおにのとの やちよ	
一〇四五	まもんひろみやに めづらしや さらん てだ	
一〇四六	世がけわし とりよわちやる まさり	
一〇四七	とかでは とうさ みきや はさめ 世がけひやし みおやせ	
一〇四八	よりたちぢよ くにの ね みき かばし おや国	
一〇四九	みきやでは とうさ けよも あちやむ みささげど はりよる	
一〇五〇	きみぎや 金物の ぐすく	
一〇五一	げらへよる きよらや	

反復句なしカ。または「みづー」のみカ

オモロ番号	反復句	備考
一〇五二	かまゑ つむ しよやおやぐに	
一〇五三	かけて かけふさい しよわれ	

オモロ番号	反復句	備考
一〇五四	げらへあやつづみ うちちへ なりあがらせ	
一〇五五	こねり なよる かなしけさ	
一〇五六	おわるとて しらにや みちなか おむかい せらまへ	
一〇五七	つしやこの いしと かねと やに てだ しひ つかば とのす 世は ちよわれ	
一〇五八	おがむすが いやば きちやらつは きやう かまくら とよませ	「きちやらつは」のみカ
一〇五九	国 こおり うらのかず とよまちへ つかい	
一〇六〇	きよらや ほこら	
一〇六一	のぼて いけば てだが ほこりよわちへ	
一〇六二	きやうのうち あまやかせ	
一〇六三	こがねの まだまの みしやく	
一〇六四	げに み物 おわちゑる よりかさが けおの より みもん	
一〇六五	こばもりむ よむいきやす こしやてもいが よしみよわば ゆどしよわ	
一〇六六	あまみきよが たくだる ぐすく	
一〇六七	いよやに おそて ちよわれ	
一〇六八	のぼて みちやる まさり	
一〇六九	月のかず あすびたち とももと わかてだ はやせ	「とももと」のみカ
一〇七〇	あち げす すだしやり ちよわれ	

オモロ番号	反復句	備考
一〇七一	とももすゑ とひやくさす ちよわれ	
一〇七二	ももぢやらの かまへ つで みおやせ	
一〇七三	ももぢやは みちへど うらやみよる	
一〇七四	ちかわすは よりいでやり なおせ	
一〇七五	てだきよら つかい	
一〇七六	てだが ほこりよわちへ	反復句なしカ
一〇七七	にし ひがの かまへ もちよせて	
一〇七八	かみ下 世 そわて ちよわれ	
一〇七九	ももと つも こがね うらおそいど ありよれ	
一〇八〇	いぢへみ さうず げらへて すでみじよ おぎやかもいに みおやせ	「すでみじよ」のみカ
一〇八一	とももすゑ おもひぐわす ちよわれ	
一〇八二	まだま まもん なさいきよもいと しなて	
一〇八三	反復句なし	
一〇八四	あまみや世の 世そうせぢ みおやせ	
一〇八五	世がほう まがほう みおやせ	
一〇八六	いぐまちへ もちろちへ あすびよわ	
一〇八七	たしや たしや きよや きよや 世よせによがかちへ つかい	
一〇八八	かみ てだの せぢ もちやり ちよわれ	



オモロ番号	反復句	備考
一〇八九	あぢの つぢ あぢおそい つくしちやら たまの きみ つかい	「のちまさり」のみカ
一〇九〇	おもひぐわ のちまさり ももあぢ しぢや しよわれ	「とももと」のみカ
一〇九一	ゑいにせや とももと あんじおそい はやせ	反復句なしカ
一〇九二	あまへて しけちぢよ もりよる	反復句なしカ
一〇九三	しまよ あづけわちへ	反復句なしカ
一〇九四	なよくら てづて あまやかせ	反復句なしカ
一〇九五	あめそのの こがねみやに おれぼしや	反復句なしカ
一〇九六	おれぼしやの あめそこ おれて おれなおさ	反復句なしカ
一〇九七	とももの かたなうちの とよみ	反復句なしカ
一〇九八	ぢやくに ゑらぶ ぢやなの おきて	反復句なしカ
一〇九九	だうのし なむぢや こがね もちみちゑる	反復句なしカ
一一〇〇	かなて あんじに おもわれて	反復句なしカ
一一〇一	うらきらしや かに ある	反復句なしカ
一一〇二	しま かねて あんじおそいに みおやせ	反復句なしカ
一一〇三	しろちやねの よりなびく きよらや	反復句なしカ
一一〇四	うちちへ みもんきみ	反復句なしカ
一一〇五	せぎよ めづらがて	反復句なしカ
一一〇六	おやつきしよ よは ちよわれ	反復句なしカ

テキスト「かなであんじ」

オモロ番号	反復句	備考
一一〇七	くもが いきつぎに とよみゆわる たかさ	
一一〇八	あが ひやし うたば 世 そわて ちよわれ	
一一〇九	さしやり ふさいよわちへ	
一一一〇	おみてづり よりこ あまへ	
一一一一	あるなと ある	
一一一二	げらへよしみや あしやげ げらへ	
一一一三	いくさせぢたかは しまうち とよむ あぢおそい	
一一一四	あまへ なよら	
一一一五	ゑしま おやせ 国 おやせ たたみ	
一一一六	げらへ世ほこり ちよわちへ	
一一一七	あんじに おもわれれ	
一一一八	なみ いぢへ との みちへ きよもん	反復句なしカ
一一一九	かがみいろの すでみづよ みおやせ	
一一二〇	たらつみちへづきや おぎむ さかやかせ	
一一二一	たらつみちへづきや きむ ひろく もちやり げすに あぢよ おもわせ	
一一二二	きこゑなよくら あが まぶる あぢおそい	「あが まぶる——」のみカ
一一二三	反復句なし	
一一二四	おやひやし あまへて つかい	

〔卷 一六〕

オモロ番号	反復句	備考
一一二五	みちへ おて いき せらに	
一一二六	てだきよら つかい	

オモロ番号	反復句	備考
一一二七	あんじ ほこる おやみやの とよみ	
一一二八	かつれん ゑらびやり ちよわれ	
一一二九	とひやくさ ちよわれ	
一一三〇	かみしもの そかなする み物	
一一三一	しま かよて くるやに	
一一三二	きよらやの たまの みうち みちやる	
一一三三	まだま こがね よりやう たまの みうち	
一一三四	きや かまくら これど いちへ とよま	
一一三五	ま物 よせ みやらに	
一一三六	みるめの かなしやす ま人は よりよれ	
一一三七	しまの うらに とよませ	

オモロ番号	反復句	備考
一一三八	返け 人 おそて みよわれ	
一一三九	あすべ あすべ やちよくた	
一一四〇	ももうらとよみてだ	
一一四一	きこゑあまわりや ぢやくにの とよみ	
一一四二	せぢたかあんじおそい おやと しなよわれ	
一一四三	あんじの つんじ おとぢやより まさり	
一一四四	やまとの かまくらに たとゑる	反復句なしカ
一一四五	おなり 返けり ちよわい かなしけさ	
一一四六	こがね もちちへ あよ そろて よわい事 みおやせ	「あよ よろて——」のみカ
一一四七	しまの うらに とよませ	
一一四八	しつらいす ことなおしかみ やれ	
一一四九	世の つほに おぎやかもいに みおやせ	
一一五〇	しま かねて おぎやかもいに みおやせ	
一一五一	ゑらびいぢへの まかね しまよりや まさり	
一一五二	かみゑらびぎや けおの より しまよわてて	
一一五三	しつらいの のろの けおの より しまよわれば いつこたしやり ほこて	
一一五四	てもち よすぎいぢへて くにてもち おぎやかもいに みおやせ	一節のみのオモロ。「くにてもち——」のみカ

オモロ番号	反復句	備考
一一五五	あらはゑす とよみ ききやれよれ	
一一五六	ぐしかわに あよみ ぬら しよわちへ	「ぬら しよわちへ」のみカ
一一五七	あまへよら ほこりよら	
一一五八	あまる のち しちやちやに みおやせ	
一一五九	しけちなは まさうず しまよの かほうさうずいちへみ	
一一六〇	やつまたが よりたち かみ下 み物する よりたち	
一一六一	反復句なし	
一一六二	しよりもり こがね つで みおやせ	「あし ねぶさ やぐめさし よりもり——」カ
一一六三	きもたかもり おとと みちやる	
一一六四	かつれんす くにてもちぐすく	
一一六五	みつめでだ あくぢよ あまい	
一一六六	この いけらわしや	「きよらや この——」カ
一一六七	しらちやねの よりなびく きよらや	
一一六八	しまたるめあんじおそい みおやせ	
一一六九	あおうはひ やうかふはひ	
一一七〇	ちやらつづ	
一一七一	なさが げらへかみ かけて なさいきよ とよませ	
一一七二	反復句なし	

〔卷 一七〕

オモロ番号	反復句	備考
一一七三	うけらたな とよで うけたこと ちやくにとよみおうね	
一一七四	よかるおらに	

オモロ番号	反復句	備考
一一七五	やぐめさよ うもいきのかず	
一一七六	ももとようす ちよわれ	
一一七七	だりす とよみ きかれれ	
一一七八	みれども あかん てだ	
一一七九	ゑけ	
一一八〇	おやぢやう あけて わん いれれ	
一一八一	いみや ある みや おたる けよから しばしば みに	「けよから」のみカ
一一八二	反復句なし	
一一八三	おもひてる よらちへ	
一一八四	あんじおそいが くむこよせぐすく	
一一八五	せぢたまぐすく やまとの おにる かに ある	

オモロ番号	反復句	備考
一一八六	とくみつは 御くらの とよみ	
一一八七	みらんすが ほるび きこゑおに みちやすが まさり	
一一八八	うらの なりとよみ うてば よりかさが ほこて	
一一八九	やよら やよら あまへ	
一一九〇	よさにや よさにや ほこら	
一一九一	おせや やちよく	
一一九二	反復句なし	三行目行頭に「又」を補う。
一一九三	のりや よかる もの	
一一九四	これる くなかなかち ももあぢ おそて ちよわれ	
一一九五	天より下の わうにせてだ	
一一九六	かけふさい 世の ふさい しよわちへ	
一一九七	とかでゑは とうさ みきや はさめ よもちひやし みおやせ	
一一九八	大みきの みちあがる ぐすく	
一一九九	やせの はなさきに よれば すでて よむいきのかず	「よれば すでて——」のみカ
一二〇〇	そるて おやひやし あまへ	
一二〇一	いみやど おれて なよる	
一二〇二	ゑけ ほこら	
一二〇三	ももとひやし うちあがる なさいきよ	

オモロ番号	反復句	備考
一一〇四	おりあげたる きよらや	
一一〇五	つづみごへ きまぼしや しよわちへ	
一一〇六	わらひきよ さしふ おしかかて	
一一〇七	わかまつが とくらし	四行目行頭に「又」を補う。
一一〇八	さはねよらふさよ	
一一〇九	て うちちゑ よりぎや きよらや	
一一一〇	けれど おやおもひひやし	
一一一一	あが おなご やてや うちちへ かがおらまし	
一一一二	さはねよらふさよ なかちげらへの とよみ	
一一一三	おみかうの めづらしやてだ	
一一一四	やへりみや くもこ つで みおやせ	
一一一五	ももと てづられれ	
一一一六	みやきぜんは 御さけど もりよる	
一一一七	ひやくさぎやめ おほこり しよわちへ	
一一一八	よの つほに みしやく おまかない	
一一一九	こがねしに こいや	
一一二〇	てだきよら まぶる てだ	
一一二二	みやがり ほこりよわちへ	「おしかさに しられれ やへりみや——」カ



オモロ番号	反復句	備考
一一三二	のきあげみづ かいなでみづ せまし	
一一三三	みちやづれが みもの	
一一三四	ぢやくにとよみいくさ みちへど みやあぐむ	
一一三五	しけち もちよせれ	
一一三六	あさと しなて かなて あぢに おもわれれ	「あぢに おもわれれ」のみカ
一一三七	あおりやへ あんじおそい まぶら	
一一三八	うらうらと わかきみ つかい	
一一三九	みやりぼしや ひやくなの よせもりがなし	
一一三〇	しま そるて とももすへ みおやせ	
一一三一	つれる つれ かほうおしよりおやぐに	
一一三二	ももしまの ふうまわり しよわちへ	
一一三三	いみやこより ももとす ちよわれ	
一一三四	あまつづは あいつまは いきやかせ	
一一三五	このよ かけつめて ちよわれ	
一一三六	大きみに しられれ	
一一三七	つくしちやら おぼいて たまがはら ふうくによせぐすく	
一一三八	かねがなし きみほこり げらへて	
一一三九	世 まさる ひやし うちちへ みおやせ	

〔卷 一八〕

オモロ番号	反復句	備考
一一四〇	なむぢや こがね もちよる きよらや	
一一四一	すへの ひやし めづらひやし みおやせ	
一一四二	すへの ひやし めづらひやし みおやせ	
一一四三	つくしちやら おぼへて げらへて とももと ちよわれ	
一一四四	すへとごち たちよわる とよみ	一節のみのオモロ
一一四五	ゑぞの てだ みちゑ みち まわて	
一一四六	あまへて かがちよわれ	
一一四七	世 そわる ひやし うちちゑ みおやせ	
一一四八	やぐめさ ふなこし こましや	「わかいきよめさ——」カ やぐめさ やぐ
番 外	かみしも とよむ おやもい みおどの げらへ	
	かみしも とよむ てだ めづらしや やまぐすくてだ	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>

オモロ番号	反復句	備考
一一四九	こがねしに こいや	
一一五〇	てだきよら まさる てだ	

オモロ番号	反復句	備考
一一五一	みやがり ほこりよわちへ	
一一五二	ぬきやげみづ かいなでみづ せまし	
一一五三	みちやづれが み物	
一一五四	ぢやくにとよみいくさ みちへど みあぐも	
一一五五	しけち もちよせて	
一一五六	あさと しなて かなて あんじに おもわれれ	「あんじに おもわれれ」のみ
一一五七	あおりやへ なさ まぶりよわちへ	
一一五八	うらうらと わかきみ つかい	
一一五九	みやりぼしや ひやくなの よせもいがなし	
一一六〇	しま そろて とももすゑ みおやせ	
一一六一	つれる つれ つれて かほうおしよりおやぐに	
一一六二	とももとの ふまわり しよわちへ	
一一六三	いみやこより ももと世す ちよわれ	
一一六四	あまつづは あいつまは いきやかせ	
一一六五	此世 かけつめて ちよわれ	
一一六六	大きみに しられれ	
一一六七	玉がはら ふうくによせぐすく	
一一六八	かねがなし きみほこり げらへて	

〔卷 一九〕

オモロ番号	反 復 句	備 考
一一六九	世 まさる ひやし うちちへ みおやせ	
一一七〇	なむぢや こがね もちろきゆる きよらや	
一一七一	すへの ひやし めづらひやし みおやせ	
一一七二	すへの ひやし めづらひやし みおやせ	
一一七三	つくしちやら おぼへて げらへて とももと ちよわちへ	
一一七四	せくたち たちよわる とよみ	
一一七五	ゑぞの てだ みちゑ みち まわて	
一一七六	あまへて かがちよわれ	
一一七七	世 そわる ひやし うちちへ みおやせ	
一一七八	やぐめさよ ふなこし こまらや	
一一七九	おもやげの ぐすぐ てだが ほこりよわちへ	
一一八〇	たまよせぐすぐ てだす 世わ ちよわれ	
オモロ番号	反 復 句	備 考
一一八一	にら人は これど きむあぐみてだ	

「わかいきよ やぐめ さめよ」カ

オモロ番号	反復句	備考
一一八二	世 おそう おもりに よ そわる くにつばに ちよわれ	「よ そわる——」のみカ
一一八三	きむたるににせあんじ ふうくに そろゑて みおやせ	
一一八四	わかきよらが けわいあすび みもん	
一一八五	せのきみと きみと	「あやて うちちへ なよれば せのきみと——」カ
一一八六	大きみしよ しろわめ	
一一八七	やちよ しろよきやは おぎやかもいに みおやせ	四行目行頭に「又」を補う。
一一八八	あめ もらん かなもり さしきよ せめらてて しちやる	
一一八九	あまみやから すでみづ すでみづよ おぎやかもいに みおやせ	「すでみづよ——」のみカ
一一九〇	すで物 ま物 まだまの とりやがる みしやこ	
一一九一	おにわしの はねうちする みもん	
一一九二	つきしろす なさいきよもい まぶりよわめ	
一一九三	あんじおそいぎや しまうちする いやころ	
一一九四	いみやからだ いみきや まさる	
一一九五	しま よせる つづみの ある あぢ	
一一九六	ながりきこゑてだ	
一一九七	せ あらば けおくなべ せらに	
一一九八	やちよ 世の つほに 御みしやく ぬきやげは のち まさる ひやし うちちゑ みおやせ	「のち まさる——」のみカ

オモロ番号	反復句	備考
一二九九	まさの いぢゑきあぢや おや しなて しま うち まさりよわちへ	
一三〇〇	なみしぐ いぐまちへ こがせ	
一三〇一	わかきよらが 世がほう みおやせ	
一三〇二	このよ まさりよわちへ しま かねて あんじおそいに みおやせ	「しま かねて——」のみカ
一三〇三	くにつぼに あぢおそいに みおやせ	
一三〇四	のぼて いけば てだが ほこりよわちへ	
一三〇五	かみ すぢや そろて きみ はやせ	
一三〇六	きよらや かみ下の よそいおどの	
一三〇七	ふうくに よる・もりぐすく	
一三〇八	なさいきよが いきよいど まちよる	
一三〇九	うら とよむ あぢがなし みちやる	
一三一〇	たうの ふね ころら よる ぐすく	
一三一一	あまみきよが のだてはぢめの ぐすく	
一三一二	かみおれはぢめの ぐすく	
一三二三	みもんにひちゑり おわもりに みおやせ	
一三二四	世う よりみちへれ	
一三二五	とよよる おゑざともり みちやる	

オモロ番号	反復句	備考
一三二六	さはねよらふさよ ちゑねんが みやりぼしや	
一三二七	くせきよらが けおのうち あらさき やぐめ	
一三二八	きみが けおのうちる かに ある	
一三二九	きみが 金うちる かに ある	
一三三〇	だに さうせて ふため まさりよわちへ	「あが なさす にせたれだ に」カ
一三三一	あが なさす しまの ぬし にせたれ	
一三三二	かぐらの けおのうちる かに ある	
一三三三	あやわし よせる はなぐすく	
一三三四	つづみ おわもりや くにとよみ	
一三三五	つづみの あぢ 国とよみ	
一三三六	ももくら ひきつれる 御くら げらへ	
一三三七	反復句なし	
一三三八	げにや へらいぼしや	
一三三九	はな おちへ うら とよむ まちらす つけれ	「うら とよむ」のみカ
一三三〇	にがよう あまよ なす てだ	

卷 二〇

オモロ番号	反復句	備考
一三三三一	きみくらよ きみくらす あんじ はやせ	
一三三三二	かみ での まぶりゆるる ぐすく	
一三三三三	おかう かなしけ すゑながく よう もちよわれ	
一三三三四	あまつづは あいつまに	
一三三三五	よそいの みこし ゑ まだまだ てりよる	
一三三三六	よきあがりしよ てづて ふさよわれ	
一三三七七	おかう したたりやが きよらや	
一三三八八	ももと ちよわれ みおどん	
一三三三九	いちのなよりきよ てづて	
一三四〇	ももしま ひきよせる わし	
一三四〇一	あやより くせよしが みもん	
一三四〇二	おとぢや いきやへしよわちへ とももとの おほごり しよわちへ	
一三四〇三	うちよせれ かきよせれ	
一三四〇四	あがる もちづき きみの きよらや	
一三四〇五	にしかない よせて また よく まさる ひがかない まへ よせて ち	
一三四〇六	くによせ げらへる きよらや	



オモロ番号	反復句	備考
一三四七	おやおもひ くわおもひ しよわちへ ゑけ ほんら	
一三四八	いしらご けずたる きよらや	
一三四九	かみ すぢや そろて あまへ	
一三五〇	ももとあがり ふみあがて ちよわれ	
一三五一	うらこやの せるむ	
一三五二	やちや みつめてだ	
一三五三	おかう ならで	「あかうに きやが おかう」 「カ。ならば五行目行頭に 「又」補うか。
一三五四	ももしま しま うちちへ とどやけれ	第一「又」トル。
一三五五	ころす なたまわ よりよれ	テキスト「ころすな たまわ」 第二「又」トル。
一三五六	とやり ふさゆわれ	
一三五七	みかなしてだ	
一三五八	みやかねよりもりに かみ下 そろて みやおせ	
一三五九	ももつれ ぬちへ もちちへ みやおせ	
一三六〇	とよめば みるすが まさり	「みるすが」のみカ
一三六一	かみてだよ つほこ しやり ちよわれ	
一三六二	よがけわし とりよわちやる まさり	
一三六三	ゑけ よ そわて ちよわれ	
一三六四	やぐめさ やまといくさ よせらや	

オモロ番号	反復句	備考
一三六五	みちや わしけ くまたかのやり ふさよわれ	
一三六六	なよせりきよ まきよのかず てはわ いへ	
一三六七	きよらや ほこら	
一三六八	ゑのし たいらしきらめ	
一三六九	大みねの つかい あまゑて かがちよわれ	「あまゑて——」のみカ
一三七〇	しまよりや まさり かくしかね みちやる	
一三七一	あが ころよ みまぶて かぐらぎやで とよで	
一三七二	大里の おもひいぢへの てだ	
一三七三	ももぢやらの ぶれおもひてだ	
一三七四	くに ふさて ちよわれ	
一三七五	きみぎや せぢ もちよるなちへ みおやせ	
一三七六	すへにぎやめ まぢよく ちよわれ	
一三七七	あんじおそいしよ せぢ まさて ちよわれ	
一三七八	あんじおそいしよ せぢ まさて ちよわれ	
一三七九	なさいきよもいわうにせ せぢ まさて ちよわれ	
一三八〇	すゑながく せぢ まさて ちよわれ	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub>
一三八一	あんじおそいに しまが いのち みおやせ きみが けおのうちに かに ある	

〔卷 一一一〕

オモロ番号	反復句	備考
一三八二	きみが 金うちろ かに ある	
一三八三	だに さうせて ふため まさりよわちへ	「あが なさす にせたれだ に——」カ
一三八四	あが なさす しまの ぬし にせたれ	
一三八五	かぐらの けおのうちろ かに ある	
一三八六	あやわし よせる はなぐすく	
一三八七	つづみ おわもりや くにとよみ	
一三八八	つづみの あんじ 国とよみ	
一三八九	ももくら ひきつれる 御くら げらへ	
一三九〇	反復句なし	
一三九一	げにや へらいぼしや	
一三九二	はな おちゑ うら とよむ まちらす つけれ	「うら とよむ——」のみカ
一三九三	にがよう あまよ なす てだ	

オモロ番号	反復句	備考
一三九四	ももすへ てづられ	

オモロ番号	反復句	備考
一三九五	おもやけ めづらがて	
一三九六	めつけ しようちへ かなしやす みよわめ	
一三九七	わかいきよ きみふくり ふくりにせ ありよれ	
一三九八	みいきよらや わかいきよ わかいきよが みぶしや	
一三九九	しのこて とよま	
一四〇〇	よがけにせさ	
一四〇一	おぶつ ゑたまれて	
一四〇二	拾 はさめ みおやせ	
一四〇三	たむきせんきみしゆ ももと いやけわめ	
一四〇四	おもいの おぎも とちへ みおやせ	
一四〇五	かみ ほとけ いみやの あんじおそい まぶら	
一四〇六	いつも あんじおそいす ちよわれ	
一四〇七	せのきみしよ よは にせめ	
一四〇八	しまよ そろゑて みおやせ	
一四〇九	なさが めづらしや	
一四一〇	世なおしが おわちゑ	
一四一一	とももすへ あぢおそいす ちよわれ あやみやの めづらしや	<p>R<sub>2</sub> R<sub>1</sub></p> <p>「いのりやり ちよわば せの きみしよ」カ 「あかん ま物 みちやる し まよ——」カ</p>

オモロ番号	反復句	備考
一四二二	あが なさす ふため まさりよわれ	
一四二三	あぢおそいしよ 世 そゑれ	
一四二四	反復句なし	
一四一五	あやぎやね おしあいしよわれ	
一四一六	ももと てづられれ	
一四一七	うちあがる ひやし	
一四一八	おもろする 大や 世 そう ひやし うちちゑ みおやせ	
一四一九	世 まさる しまうちひやし みおやせ	
一四二〇	てだよ みちやる まさり	
一四二一	おやより こので	
一四二二	うらきらしや みぼしや	
一四二三	とよみよる つかい まころくが げらへ	
一四二四	ゑ わすれたな なさいきよが おみかうの みぼしや	
一四二五	世 そろう ぐしかわ げらゑて	
一四二六	だりじよ とよめ みれば みづ まわて	
一四二七	で わん おぎもに しなわ	
一四二八	おみしやく ぬきあげは	
一四二九	かほうせぢ まゑ「よせて ちよわれ」	

オモロ番号	反復句	備考
一四三〇	にしの かね丸は のちすゑの およは おぎやかもいす ちよわれ	
一四三一	すづとみす あぢ はやせ	
一四三二	ももあんじ やらばやちよむ ゑ やれ とよむ あぢおそい	
一四三三	おもいきみ げらへ「きみ きよらや てだ げらへて ちよわれ」	
一四三四	もりぐすく おれぼしや	
一四三五	なさいきよに みやがのもり みおやせ	
一四三六	さいの はなの まやいど みもん	
一四三七	あやつぢへ とよま	
一四三八	ももあんじより まさりよわ すへながく たまよ そろへわちへ	
一四三九	まぶれよわば ももすへ ちよわれ	
一四四〇	たむきせのきみしよ ももと いやけわめ	
一四四一	おもいの おぎも とうちゑ みおやせ	
一四四二	ももあぢより まさり世わ すゑながく たまよ そろへわちへ	
一四四三	よなおしぎや おわちへ	
一四四四	「とももすへ あぢおそいす ちよわれ」	R <sub>2</sub> R <sub>1</sub> R。五五八番による。
一四四五	こがせ	反復句なしカ
一四四六	やれ け てはかりやり せめつけて とよま	

オモロ番号	反復句	備考
一四四七	ふなやれひやし	
一四四八	おこのみの たかさ ぐしかわ わくさうず げらゑて	
一四四九	あぢおそいでだの このみよわる かまへ つむ せんよせ げらへ	
一四五〇	あぢおそいでだど わが てだ	テキスト「——てだど わかてだ」
一四五一	やほう ひちへ まちよら	「おれるかず——」のみカ
一四五二	おとときみ やれども おれるかず きみ はやす みこゑ	
一四五三	よそうせぢ あぢおそいに みおやせ	
一四五四	ももすゑ とよむ きこゑる もり	
一四五五	反復句不明	
一四五六	あぢおそいす 世 そへれ	一行のみ。他は他オモロよりの混入。
一四五七	あぢおそいよ まぶらてて おれわちへ	
一四五八	きみよ ほこりよわちへ あぢおそいや ももと世す ちよわれ	
一四五九	ましけす まげらゑ しょわちへ	
一四六〇	で わん おぎも はやさ	
一四六一	わかきみ げらへて つかひ	
一四六二	まぢらた めより	
一四六三	かみぎや とき しらたる いちよかか ころた あやの みやし うちよ わちへ かみは またたな	

オモロ番号	反復句	備考
一四六四	まゑさうず ありちゑば ゑけ まさり きく うらやみ	
一四六五	世の いきつぎの 世の てもち みおやせ	
一四六六	まいとおどし けさつり とよで	
一四六七	きもたかもりや くにまさり しようちへ	
一四六八	かみ ほとけ いみやの あぢおそい まぶら	
一四六九	とか はさめ みおやせ	
一四七〇	よがふうなさいきよ	
一四七一	たまよ そろゑて みおやせ	
一四七二	みかなしわかいきよ ももすゑ ちよわれ	
一四七三	ももうらの とよみ	
一四七四	いなよね よりみちへれ	
一四七五	つくせ よせれ	
一四七六	ももうらまちらす たちよわちへ ふさよわれ	
一四七七	反復句なし	
一四七八	せこい ききぼしや くにとよみ	
一四七九	きこゑあぢおそいや ももと世す ちよわれ	
一四八〇	いけいけしく はやせ	



オモロ番号	反復句	備考
一四八一	せのきみ てづて あまやかせ	
一四八二	すゑながく 世 そろゑて ちよわれ	
一四八三	よなおしが おれわちへ	
一四八四	たりのこの みるやに つかい	
一四八五	ももあぢやらばやちよも やれ とよむ あぢおそい	
一四八六	せだかこが つかひ	
一四八七	うちやがる たたみ	
一四八八	けわいつ ゑけ	
一四八九	げらゑ みもん	
一四九〇	たけ みつき しまの つぢ ちよわれ	
一四九一	ももとひやし うちあがる なさいきよ	
一四九二	世がほうなさいきよ	
一四九三	たま世 そろへて みおやせ	
一四九四	とももすへ あんじおそいす ちよわれ	
一四九五	いけいけと そろわば おれら	
一四九六	金すゑ あぢおそいに みおやせ	
一四九七	やれ このゑ	

〔卷 一一一〕

オモロ番号	反復句	備考
一四九八	しまでん くにでん みおやせ	
一四九九	あやみやの めづらしや	
一五〇〇	けよのうちの おやひやし みおやせ	
一五〇一	かぐら おて ておりあすび しよらい	
一五〇二	で わん わん かぐらぎやめ とよま	
一五〇三	ゑけ みのかわ うちちゑ とよみ	
一五〇四	世よせあかずおどん	
一五〇五	せいだかさ とよみよわる たたみ	
一五〇六	こゑしのす もちよろゑて みおやせ	「だに す」カ ま御み事ろ こゑしの
一五〇七	よく げらへて まさりよわる せだかこ	

オモロ番号	反復句	備考
一五〇八	とももすへ おぎやかもいす ちよわれ	
一五〇九	あよ そろて かぐらひやし みおやせ	
一五一〇	ももとひやし うちあがる なさいきよ	

オモロ番号	反復句	備考
一五一一	世がほう まがほう みおやせ	反復句なしカ
一五二二	ゑのちかみ このみ しようちへ	
一五二三	よそうせぢ もつ たたみ	「きみが いのろ もりに ち よわちへ しまが——」カ
一五四四	すゑの ひやし めづら ひやし みおやせ	
一五二五	かみ すぢや そるて ほこりよわちへ	「みち あけて かなひやぶ——」カ
一五二六	これど こがねうち たとわる	
一五二七	さしふ おれなおちへ	「きみが いのろ もりに ち よわちへ しまが——」カ
一五二八	みしま いのて あんじおそいに みおやせ	
一五二九	世もつせぢ あぢおそいに みおやせ	「みち あけて かなひやぶ——」カ
一五三〇	ももと ちよわれ あぢおそい のちまさり ももあぢ なおしよわれ	
一五三一	あぢおそいしよ とももすへ ちよわれ	「きみが いのろ もりに ち よわちへ しまが——」カ
一五三二	国 ふさて ちよわれ	
一五三三	あんじおそいしよ みまぶて きみきみや おぼつより かへら	「きみが いのろ もりに ち よわちへ しまが——」カ
一五三四	にるやせぢ みおやせ	
一五三五	これど だにの まてだ やれ	「きみが いのろ もりに ち よわちへ しまが——」カ
一五三六	しまが おゑ ちよわれ	
一五三七	ももぢやらの ぬしてだ なりよわちへ	「みち あけて かなひやぶ——」カ
一五三八	かなひやぶ てづて	

オモロ番号	反復句	備考
一五二九	てだご大ぬしや きよらや てりよわれ	
一五三〇	さしふ おれなおちへ	
一五三一	やちよ かけて とよまさに	
一五三二	しま よせる つづみの ある あぢ	
一五三三	うらうらと おさうぜやに ちよわれ	
一五三四	ゑよ ゑ やれ おせ	
一五三五	つかさこ ゑ あは いのて はりよる ゑ	
一五三六	ややの まほう おしあげて はりやせ	
一五三七	うみ とらちへ かぜ なおちへ つかい	
一五三八	くせきよらが けおのうち あらさきの やぐめ	
一五三九	かぐら あつる くもこいし てづて おぎやかもいに みおやせ	
一五四〇	とよみよる おゑざともり みちやる	
一五四一	あまつづは あいつまは いきやかせ	
一五四二	とはしり やはしり おしあけわちへ みもん きよらや	「みもん きよらや」のみカ
一五四三	ふゑのとりの かこゑの うらうらと きまき きよらや	
一五四四	さやはしもはしり おしあけれよ ぢやうの しよ たますだれ ままあげ れよ すでもの	三四九参照

オモロ番号	反復句	備考
一五四五	あおる こがせや もどる くもは きやり こがねしま はちへおわちへ	
一五四六	めすかわの まさうず こゑが おわち	
一五四七	たまはしり たまやりと みもん	
一五四八	だりじよ また かみ下 とよめ	
一五四九	はねうちする こはいぶさ すだちへ	
一五五〇	いぢらかず おみまぶてす はりやせ	
一五五一	ねいし まいしの あらぎやめ ちよわれ	
一五五二	てだ かみ そろへて まぶよわれ	
一五五三	しまでん くにでん みおやせ	
一五五四	おもいぐわの あすび なよればの みもん	一節のみのオモロ